

中間報告書

令和 3 年 9 月 30 日現在

1 事業名 水害は「逃げるが勝ち！」

2 実施期間 令和 3 年 4 月 21 日～令和 4 年 3 月 31 日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

【目的】

西日本豪雨災害を経験した川辺地区を中心とした真備町の住民が防災減災について考える場を作り、つながりや助け合いの関係性を築きながら防災力向上を目指す。

また、事業を進めていく中で学んだことやノウハウを県内外の方にも伝え、防災に強いまちづくりを目指す。

【概要】

(1) 防災・減災をすすめる事業

ア 防災カフェ（毎月1回程度）

- ・防災のことを自分たちのこととして考えられる内容。
- ・防災の知識を身に着け、楽しく集うことでお互いが顔の見える関係づくりとなる。
- ・住民同士の繋がり強化は災害に強い町を目指す活動となる。

イ 川辺みらいミーティングの開催（年2回程度）

- ・災害からの復興や地区防災計画のモデル事業となるよう、防災に関心の強い人達を中心の実行委員会として、誰でも参加できるように企画運営をする。
- ・昨年度配布した黄色いタスキを使った安否確認訓練を川辺みらいミーティングで実施し、共助について川辺地区全体の意識向上を目指す。

ウ キッズ防災教育（小学校と連携）（年1～2回）

- ・子どもたちに対して「楽しさ」を盛り込んだ防災教育を行い、併せて子どもたちが災害から命を守るすべを身につけることを目指す。

エ 非常時持ち出し品や備蓄品についての冊子作成（随時）

- ・令和3年度は、西日本豪雨災害の経験を基に、備えの重要性に気づき非常時持ち出し品や備蓄品に特化した冊子を作成し、県内外の方の備えのきっかけづくりをする。

(2) 他地区への防災減災に向けての啓発活動

ア 講演活動の展開

イ 「防災おやこ手帳」の活用

- ・「防災おやこ手帳」は、分かりやすく、備えるきっかけになると好評をいただいている。引き続き、防災おやこ手帳の配布、防災おやこ手帳を活用した講演会などを実施し、県内外の防災力向上に努める。

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

(1) 防災・減災をすすめる事業

ア 防災カフェ（添付資料 P15～16、18、P29）

5/18(火)	車中泊について動画作成・YouTube 配信 香川大学 磯打千雅子氏・あるく代表 榎原
7/ 6(火)	防災ママカフェ／被災体験をもとに備えを考える
7/27(火)	LIEN を使ってみよう / あるく代表 榎原

イ 川辺みらいミーティングの開催 (資料 P14・30、(反省会資料)P31～49)

5/16(日) 第6回	「黄色いタスキによる安否確認訓練」を関係諸団体と協力して実施。 令和2年度に配布した黄色いタスキを各家庭で玄関先に掲げ、それを確認、集計、報告訓練を開催した。
----------------	--

- ・黄色いタスキ配布軒数 1,348 軒
玄関先に掲げ、参加した軒数 874 軒 達成数 64.8%
- ・報告町内会数 49 / 町内会数 53

ウ キッズ防災教育 (小学校と連携)

エ 非常時持ち出し品や備蓄品についての冊子作成 (資料 P20)

- ・制作に向け、意見だし会議等を行った。

(2) 他地区への防災減災に向けての啓発活動

ア 講演活動の展開

- ・随時、依頼を受け講演活動を行った。
- ・岡山県男女共同参画ゼミナールなど5月～9月の間に14回

イ 「防災おやこ手帳」の活用

- ・メディア紹介以降反響があり、9/6～現在まで「防災おやこ手帳」の申込受付、配送準備、配送等を継続実施している。(増刷予定)

※累計12,500冊発行/R3_約2,000冊

<今後、実施すること>

(1) 防災・減災をすすめる事業

ア 防災カフェ (資料 P17、P29 パンフ部分の拡大)

10/20(水) 収録	YouTube 配信予定 9/17 実施「地震について学ぶ」を緊急事態宣言により延期したため、収録に切り替え配信を行う。 講師：NPO 災害看護支援 山中弓子 氏 講師：なのはな保育園取締役、はなえみ保育園園長 岩本淳子 氏 (オンライン)
----------------	--

イ 川辺みらいミーティングの開催 (資料 P51 チラシ)

10/31(日) 第8回	「学ぼう！川辺の防災」オンライン併用でのハイブリッド開催。 ※添付チラシを参照
-----------------	--

ウ キッズ防災教育 (小学校と連携)

10/15(金)	川辺小学校3年生を対象に実施。
----------	-----------------

エ 非常時持ち出し品や備蓄品についての冊子作成

- ・防災おやこ手帳第2弾として制作中。
主に「備え」について、香川大学 磯打千雅子 氏、ピースウィンズ・ジャパンの協力により話し合いを持ち、更に内容の検討を進めている。

(2) 他地区への防災減災に向けての啓発活動

ア 講演活動の展開

随時

イ 「防災おやこ手帳」の活用

- ・防災おやこ手帳に掲載の“警戒レベル”を一部改正
警戒レベル3の「高齢者等避難」の「等」には、乳幼児や妊婦など避難に時間がかかる人が含まれていることが周知されていないことが分かった。よって、より分かりやすく早めの避難につながるよう、修正を行っている。

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

【これまでの成果・効果】

- 『黄色いタスキを川辺地区の住民に配布することで、自助共助の意識を高めこと』については、町内会に戻ってこられた方に届けるなど、配布枚数が増加した。
- また、5月に実施した黄色いタスキによる安否確認訓練では、関係諸団体の協力のもと、黄色いタスキを配布した多くの世帯で黄色いタスキが玄関先に掲げられ、それが報告された。<達成率 64.8%> (3②(1)イ記載のとおり)

更に訓練以降、8月にあった大雨の折、自主的に避難された方が黄色いタスキを掲げて避難されるなど、安否確認グッズが徐々に浸透したように思われる。

- 防災おやこ手帳については、9/6にNHK全国放送「あさイチ」にて丁寧な紹介を得てから、再度反響があり全国から申し込みが殺到した。大きな要因としては、被災体験者の経験をもとに制作したことが大きいように感じている。

また、9/25の山陽新聞に大きく取り上げられてから、岡山県内からの申し込みも徐々にあり、私たちの思いが伝わり、防災おやこ手帳が各地で活用され、防災意識の向上に結び付いているということを実感できた。

<参考：年度当初に掲げた今年度の目標>

成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)
黄色いタスキを川辺地区の住民に配布することで自助共助の意識を高めること	黄色いタスキの配布枚数	904枚	5月訓練時 1348枚 + 随時配布中 α 1400枚
防災訓練などの取り組みで地域住民の防災意識の向上	川辺みらいミーティング参加者数	R2年度参加人数 開催3回・延108人 YouTube配信 2回500回	開催2回 参加人数200人 現在1回 黄色いタスキ大作戦 874軒参加(達成率 64.8%) 報告町内会49 ※アンケート結果 YouTube配信:車中泊250回
防災おやこ手帳を活用しての講演会などで防災意識の向上を図る	講演会後のアンケート	—	配布数 R2～現在まで12,500冊 ※アンケート取りまとめ中 —

【事業終了後に得られる成果・効果】

- 川辺みらいミーティングや防災カフェなどを通して、地域防災の強化を行い、個々の防災力の向上につなげる。
- 事業で得られた学びや経験を「川辺モデル」として、講演活動や防災おやこ手帳、手帳第2弾を通じて県内に広め、防災人口（防災意識を持った人）の増加を図ることができる。

④ 課題等

- 黄色いタスキを町内会に加入されていない集合住宅や一戸建てにどのように声掛けをし、つながりを構築できるか。黄色いタスキによる安否確認の取り組みを理解してもらえるか。
- 新型コロナウイルス感染拡大によって集うことに制限がある中、計画通りに行えていない部分もある。（防災フェスや防災カフェなどの延期）

4 添付資料

- 活動報告
- あるく通信 4月、5月、6月、7月
- チラシ「防災カフェ：地震の備えを学ぼう」
チラシ「川辺みらいミーティング：黄色いタスキ大作戦安否確認訓練」
- 第7回川辺みらいミーティング反省会資料
- フライヤー「川辺みらいミーティング：学ぼう！川辺の防災」
- (参考資料)動画(YouTube)で伝える西日本豪雨災害

事業計画書

① 団体名	川辺復興プロジェクトあるく
② テーマ区分	指定テーマ (1) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③ 事業名	水害は「逃げるが勝ち！」
④ 採択回数等	2 回目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) ・ <u>経過措置規定の適用</u> (補助率1/2以内、上限100万)
⑤ 事業目的	西日本豪雨災害を経験した川辺地区を中心とした真備町の住民が防災減災について考える場を作り、つながりや助け合いの関係性を築きながら防災力向上を目指す。 また、事業を進めていく中で学んだことやノウハウを県内外の方にも伝え、防災に強いまちづくりを目指す。
⑥ 現状及び課題	平成30年西日本豪雨災害により、倉敷市真備町では災害関連死を除く犠牲者51名のうち41名は高齢者や要援護者であり、そのほとんどは避難をすることなく自宅の1階部分で遺体となって発見された。 また、避難行動に関しては、若い子育て世代は子どもたちの安全を確保するために早めの避難をしようとする傾向だが、高齢者や自力で避難できない方、災害への意識の低さによって避難のタイミングを逃し、避難の遅れによって自宅で孤立しボートで救出された人も多くいた。 以上のことから、緊急時に住民同士が助け合うことができる関係性の構築が重要な課題である。 現在もなお、みなし仮設や建設型仮設で住み慣れた地域を離れての再建を余儀なくされており、被災者同士のつながりを密にする活動が求められていると同時に、真備町に帰ってからの生活(金銭面・安全面など)の不安を抱えている人も少なくない。 令和2年度末に完了した災害公営住宅は緊急一時避難先にもなることから、災害公営住宅の住民と地域住民との繋がりも重要となる。 令和2年度岡山県備中県民局提案型協働事業により防災意識向上に向けた取組を行っているが、防災はゴールや正解のないものである。 引き続き、防災について考えるきっかけづくりとなる事業を地域全体で行っていく必要がある。
⑦ 事業内容	【1】 防災・減災をすすめる事業 ①防災カフェ (毎月1回) 防災を身近に感じ、楽しく会話やお茶会をしながら住民の興味に合わせて <u>防災のことを自分たちのこととして考えられるような「防災カフェ」を開催することで、防災の知識を身に付け、楽しく集うことでお互いが顔の見える関係づくりとなる。</u> 住民同士の繋がり強化は災害に強い町を目指す活動となる。 <u>防災に関する小規模な勉強会(避難準備品、非常食の試食、ローリングストック、マイタイムラインづくり)</u> など簡単にできることから開催し、課題を出し合う機会ともなる。 令和2年度も毎月開催してきたが、令和3年度も継続して開催することで、個々が災害に備えるきっかけとなるようにする。また、興味はあるが、みなし仮設に住んでいてなかなか参加できなかったという方も真備町に引っ越してきたタイミングで参加できるようになっており、 <u>継続して開催することが大切である。</u>

②川辺みらいミーティングの開催（年2回程度）

ほぼ全世帯が被災した川辺地区において、我が家の再建や地域の復興が始まる中、住民同士が自分のできることを語り合い、助け合いながら地域の再生に向けての活動につなげるための話し合いの場として開催している。

災害に遭った私たち住民が、今後も起こるかもしれない災害を自分のこととして捉え、災害からの復興や地区防災計画のモデル事業となるよう、防災に関心の強い人たちが中心の実行委員会として、誰でも参加できるように企画運営をする。

町内会の再建やコミュニティの構築が自主防災組織の基となり、話し合いを継続することにより早めの避難と安否確認の必要性を共通理解する場となることから、川辺地区住民の防災意識の向上につながる。

令和2年度は、分散避難に関するアンケートとアンケート結果の報告会として第4回、避難ルートについて考える第5回と防災マップの報告会として第6回として開催した。

令和3年度は、安否確認を含めた避難訓練を計画している。

令和2年度に作成できなかった川辺みらいミーティングや住民からのヒアリング、話し合った経験や意見をまとめた冊子の作成については、令和3年度に実施したい。

また、令和2年度には避難時に近所の方が避難したか否かがわからず心配になったり、避難のタイミングが遅れたりしたことから、安否確認のための黄色いタスキを川辺地区の全世帯に配布した。このタスキを使った安否確認訓練を川辺みらいミーティングで実施したい。



③キッズ防災教育（小学校と連携）（年1～2回）

被災体験をした子どもたちの中で、親や家族の「避難スイッチ」を押して早めの避難行動につながったケースも多くみられたため、子どもたちが防災について学ぶことで、家族・地域の防災意識の向上につながると考えられる。そのため、令和2年度に引き続き、子どもたちに対して「楽しさ」を盛り込んだ防災教育を行い、併せて子どもたちが災害から命を守るすべを身につけることを目指す。

④非常時持ち出し品や備蓄品についての冊子作成（随時）

令和2年度事業で「防災おやこ手帳」を作成する中で、少しでも快適に避難生活をするうえで、防災グッズを備えることの重要性を再確認した。各家庭や家族の健康状態、避難先によって避難する際に準備するものや備蓄するものが違うことに気付いた。

令和3年度は、西日本豪雨災害の経験を基に、被災したからこそ分かった必要な備えを被災したことのない人に伝えるための、非常時持ち出し品や備蓄品に特

化した冊子を作成し、県内外の方の備えのきっかけづくりをする。

【2】 他地区への防災減災に向けての啓発活動

①講演活動の展開

発災後の私たちの経験や取組を発表する依頼をたびたびいただいている。
 私たちの経験に基づいて計画実現してきたイベントや防災の仕組みづくりは「災害を自分のこと」として考えるきっかけとなりそれぞれの防災意識の向上につながる。
 このような経験を他地区でも講演活動を展開して、防災・減災を備中地区はじめ、岡山県全体に発信する活動にする。

②「防災おやこ手帳」の活用

「防災おやこ手帳」は、分かりやすく、備えるきっかけになると好評をいただいている。引き続き、防災おやこ手帳の配布、防災おやこ手帳を活用した講演会などを実施し、県内外の防災力向上に努める。

⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応

*代替案の検討、事業縮小、事業中止など
 令和2年度に関しても、映像やオンラインを活用した実施、密を避けて屋外での実施など工夫して行った。令和3年度も2年度の手法を活かしながら、状況を十分に踏まえた上で代替え案や事業縮小などをしながら実施していきたい。

⑨今年度の成果目標と指標

防災の活動を通して、参加した人達が自分事として捉え、災害に対応できる準備をすることができるようになる。そして、地域をまとめる諸団体と連携し町内会や顔の見える関係の中で、防災の取り組みを行うことで「逃げ遅れゼロのまち」になる。

成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)
黄色いタスキを川辺地区の住民に配布することで自助共助の意識を高めること	黄色いタスキの配布枚数	904枚	1400枚
防災訓練などの取り組みで地域住民の防災意識の向上	川辺みらいミーティング参加者数	R2年度参加人数 開催3回 延べ108人 YouTube配信2回 約500回視聴	開催2回 参加人数 200人
おやこ手帳を活用しての講演会などで防災意識の向上を図る	講演会後のアンケート		

⑩中期(数年)的な目標

継続的に事業を実施することにより、防災への理解をより深めることができ、また、防災に関心を持ち出した新規の参加者が増加している。令和3年度についても、引き続き住民や参加者の防災に関する疑問を解決できるようにし、さらに、防災に対する見識を深めていきたい。
 また、川辺みらいミーティングで安否確認についての訓練をすることにより、近所同士の助け合いについて考えるきっかけを提供することができる。

⑪長期的な目標

防災については、継続的にイベントや講習会などを開催することで、平時の備えにつながり、いざという時の避難行動につながると考えている。
 本事業を通し、一緒に活動してくれる人材も増えたことから、地域防災を継続して行う体制を作っていきたい。
 水害の危険性がある地域に住んでいる人が「水害は「逃げるが勝ち！」」というのを、しっかりと理解し、逃げ遅れゼロの町を目指していきたい。

⑫翌年度以降の事業展開の予定	<p>防災意識を持ち住民が安心して暮らしていくためには、全ての住民が安全に避難することができるための仕組みづくりを進める必要がある。</p> <p>岡山県備中県民局提案型協働事業の助成の申請を継続し、川辺地区まちづくり推進協議会や諸団体と連携しながら、進めていきたいと考えている。</p>
⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント	<p>令和2年度に関しては、コロナ感染拡大防止のため一部計画がずれ込んだものもあったが、アンケートを利用して防災意識の向上を図ったり、オンライン開催なども活用したり、啓発チラシを作成・配布したりして歩みを止めず概ね計画通り実施することができた。</p> <p>さまざまな立場の方（防災有識者・地域諸団体・医療関係者・消防団員・防災士・NPO・行政・大学生など）と連携しながら、どんな状況下においても今できることを考え、実施できたことは、コロナ禍だけではなく、災害などの緊急時の際にも、困難を乗り越えるための体制づくりの一端となる。</p> <p>防災についての事業を継続し、地域一丸となって防災に強いまちづくりを目指すための基盤ができつつあると感じており、令和3年度以降も連携を大切にしながら、防災まちづくりを展開していきたい。</p> <p>また、令和2年度に作成した「防災おやこ手帳」は全国の方に興味を持っていただき、「わかりやすく、友人などにもお勧めしたい」と多くの方から好評いただき、10,000冊を発行している。</p> <p>川辺地区の防災の取組も注目されており、滋賀県・渋谷区・鹿児島など県外からの講演依頼もあった。特に、川辺地区の取組から生まれた分散避難の考え方「マイ避難先」は、有識者からも評価いただき、川辺モデルの防災を広く伝えることができつつある。</p>
⑭想定される役割分担	<p>【団体】事業の遂行、会計管理、報告など</p> <p>【県民局】事業を進めるにあたって相談役、新型コロナウイルスについての情報提供、イベント開催時の告知集客、メディアへのプレス発表など</p> <p>【その他】</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】</p> <p>県から発信されている新型コロナウイルスの対策についての情報を基に安全にイベント開催ができる。私たちが学んだ防災の知識を私たちだけのものにせず、他地域で水害の危険性がある場所で生活している人の防災力向上につながる。</p>

<記入上の注意事項>

- それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境など）、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ（問題）、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。
- 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 「⑩中期(数年)的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期(数年)的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関すること、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
毎月 1回 程度	① 防災カフェ 楽しくおしゃべりやお茶を飲みながら学ぶ。住民の要望に応えられるところから進めていく ・災害時の食事、栄養 ・非常持ち出し品について ・防災グッズづくり（新聞紙でスリッパ、段ボールトイレづくり） ・避難所の生活を支えるグッズについて ・備蓄食品、ローリングストック（非常食試食会） ・段ボールベッド組み立て体験 ・マイタイムラインについて ・他被災地・未災地との交流 など	あるくイベント スペース「てくてく」 ※以下、 てくてく	1回定員 10人程度 ×12回
通年 (2回程度)	② 川辺みらいミーティング 被災後のまちづくりを地域の課題としてみんなで考える会を関係諸団体と協力して開催する。開催を通じて住民同士で話し合い、防災意識を高める。 ・安否確認のための仕組み・具体的な取組を考え、安否確認グッズを使用した避難訓練などを実施 ・実行委員会を月1回程度開催 ・みらいミーティングの取組結果をまとめた冊子を作成	川辺地区内	1回につき 40人～80人 ×2回程度 20人/回程度 約5,000部
通年	③ キッズ防災事業 ・楽しく、自然と防災意識が高まる防災イベントを実施 ・コロナ禍でも防災意識向上につなげるため、映像教材を作成し、学校や家庭で活用してもらう。	小学生・幼稚園	約30人程度 ×2回程度
通年	④ 非常時持ち出し品や備蓄品についての冊子作成 ・令和2年度に実施した、真備町の子育て世代対象のアンケートを基に、備えるためのハードルが下がるわかりやすい冊子を目指して作成し、希望者に配布する。	県内外	約2,000部
通年	⑤ 他地区への防災減災に向けての啓発活動 ・私たちの被災経験を基に、リアルな災害の状況を伝えることで、多くの方に防災・減災について考えるきっかけづくりをする。 ・防災おやこ手帳を配布し、教材としても活用し、引き続き県内外の防災力向上を目指す。	県内外	約300人

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。

令和3年度

活動報告

水害は「逃げるが勝ち！」

岡山県備中県民局提案型協働事業

川辺復興プロジェクトあるく

5/16 黄色いタスキによる安否確認訓練 第7回川辺みらいミーティング

出水期の前に、黄色いタスキを使った避難訓練と、防災を考える「防災フェス」を予定していた。コロナ感染拡大によってイベントの開催はできないと判断し、延期とした。

しかし、コロナ禍であっても災害は待ってくれず、起こる可能性があり、安否確認訓練「黄色いタスキ大作戦」として行い、オンラインを使って報告会を同時配信した。

黄色いタスキを使った安否確認訓練に向けて、町内会があるところには町内会会長を通じて配布した。町内会がない団地や集合住宅にも、関係する諸団体と連携し、協力を得て配布した。

「黄色いタスキ」を掲げることで、繋がりを感じる事ができた。「無事です」と掲げてあれば、声掛けする時間の短縮となり、自分の避難も早くなるので安心。
「黄色いタスキを掲げましょう!」とお互い声掛けができ、コミュニケーションが取れて良かった。
「川辺全体で防災の活動をしている!という繋がりがみえる成果を感じられる取り組みであった」そして、これまでのみらいミーティングの取り組みが「地域を動かす」成果につながったと好評いただいた。

成果報告会YouTube配信

《集計結果》
黄色いタスキの配布軒数 1348軒
玄関先に掲げ、参加した軒数 874軒
達成率 64.8%
町内会数53
報告町内会数49



延期
開催内容変更

黄色いタスキ大作戦 ～安否確認訓練～

川辺地区にお住いの皆様へ
今年も出水期がやってきます。
「逃げ遅れゼロの川辺地区」を目指し避難の心とついで、今回は黄色いタスキを活用した「安否確認訓練」を行います。
実際に命を落とす人がないよう、想像を過ぎることも知らなくてあげられた...そんな人を一人も生まさないように、みなさんで協力と頑張りをアップしていきましょう。ぜひ、ご参加ください。

開催日時
2021年5月16(日) 13:00～16:00

～皆さんにいただくこと～
13:00 になったら、「黄色いタスキ」を自宅の玄関先に結びつける。
※ 当日、お出かけされる方は、前もってタスキを届けておくください。
※ 16:00まで掲げておくください。

～黄色いタスキを掲げている軒数を教えてください～
地区役員さん、担当者が皆さんの家をまわって軒数を数え、本部に報告します。

オンライン 速報! 安否確認訓練の参加状況と成果報告
※ 5/16 13:00～

お問い合わせ先 事務局 川辺復興プロジェクトあくる 080-5752-0111
タスキが届いていない方もご連絡ください

黄色いタスキ大作戦

お隣さんは無事かな? 目指そう!逃げ遅れゼロの川辺地区

平成30年7月西日本豪雨の際に、「お隣さんが無事なのか心配だ」「避難したかどうか分からず、声掛けに時間がかかった」などの声をたくさん聞きました。そこで、「我が家は、避難しました!無事です!」と一緒に自分も地域貢献のタスキを川辺地区全域に配布することにしました。

川辺地区の「黄色いタスキ」ルール

1. 「無事です」のタスキが、「避難した」のサイン。
2. 平時は玄関などの目につく場所や非常持ち出しバッグに掛けて保管。
3. 結びやすく、解きやすい。ご近所さんはもちろん、町内会長さんや自主防災リーダーさんなどが安否確認をする際にも役立つ!

※水害時→避難する際に、玄関付近が目立つところに結ぶ
※地震時→人がいる人も、玄関先が無事であれば、玄関付近が目立つところに結ぶ
※火災時→避難する際は、玄関先が無事であれば、玄関付近が目立つところに結ぶ

緊急時タスキが玄関先にお宅に声掛けをお願いします。
黄色いタスキがない方は、明るめの部屋で掲げている場合があります。
壁紙いれぶん、もしくは地域の役員が来たら速やか「大丈夫です!お手を貸さないとありますか?」と、声掛けをお願いします。

川辺地区の住みながら取り組もう!
令和3年度には、この「黄色いタスキ」をみんなで見守り訓練をお願いします。ぜひご参加ください。



オンラインで
報告会



掲げた数を報告
集計



【1】 防災・減災をすすめる事業

防災を身近に感じ、楽しく会話をしたり、お茶を飲んだりしながら防災を我が事として考える場として「防災カフェ」を毎月開催することを予定していたがコロナ感染対策のため開催できない月もあった。よって、動画を制作して配信したり、少人数で開催できる機会を大切にして顔を合わせたりして行った。

① 防災カフェ（毎月1回程度）

開催日	内 容	参加人数	スタッフ 参加人数
5/18 収録	車中泊について動画制作 ・YouTube配信 (香川大学 磯打千雅子)	視聴回数 約250回	1人
7/6	防災ママカフェ 水害の被災体験を振り返り、備えの意見交換会	2人	3人
7/27	「LIENを使ってみよう」 「 講師：あるくスタッフ榎原	8人	2人
9/17	「地震について学ぶ」 NPO災害看護支援 山中弓子 なのはな保育園取締役 はなえみ保育園長 岩本 淳子 （オンラインにて）	延期	延期
10/20 収録	「地震について学ぶ」 NPO災害看護支援 山中弓子 （あるく事務所にて） なのはな保育園取締役 はなえみ保育園長 岩本 淳子 （オンラインにて）		
11/			
12/			
1/			
2/			
3/			

防災カフェ 「防災ママカフェ 備蓄品について」 7月6日

小さい子どもを持つママと、防災グッズや備えについておしゃべりをしました。水害を経験した時の子どもたちの様子や、被災後の子どもの不安を抱えママたちは向き合ってきたようです。

【意見】

『梅雨になると子どもが不安になりがちで、雨の夜は一人で寝ることができない子もいる』

『「逃げる＝怖い」とならないように、少しでも楽しく、不安を軽くする工夫が大切』

◎『平時から「キャンプに行くよ」と「アウトドア避難」になるように
楽しいこと＝避難にしたい』

○『被災後のプライベートの空間確保が重要』

『「子どもに避難グッズ」は子どもが日頃から大切にしている「宝箱」のようなものを一か所に決めておいておくといい』

◆『意外に家庭や地域で防災の話できていないのかも』

◆「地震の備えについて知りたい」

⇒【計画】「地震を経験し、災害看護師の山中さん、熊本地震で被災経験を持つ保育士岩本さん」からお話を聞く



何があったら便利？
どんなものを準備してる？

市販の避難グッズ「色々あるけど自分にとって必要なものが入ってるものを選ぶといいよ」



防災カフェ「地震の備えについて学ぶ」

(目的) 地震の備えについて学び日々の生活に取り入れられるようにする。

(内容) 水害での被災体験をもとに、日常生活の中で備えはしているが、近い将来予測されている南海トラフ地震について、どのように備えをすべきか地震被災者からヒントを得る。

災害看護師として活動を続けてこれ、阪神淡路大震災を経験されている山中さんに、専門職としての視点からお話を聞く。

熊本地震を体験され、保育士として多くのお子さんを見て来られている岩本さんからオンラインでお話をいただき、子どもを持つ親が何をどのように備えておくべきか話を伺う。

The poster is titled "防災カフェ" (Disaster Cafe) and "地震の備えについて学ぶ" (Learning about Earthquake Preparedness). It features a central banner with the title and a photo of a woman, likely the speaker. The text is arranged in columns, providing details about the event. There are several illustrations, including a person at a computer, a person holding a child, and a collection of disaster preparedness items like water bottles, food, and first aid kits. A thought bubble contains questions about earthquake preparedness. At the bottom, there is contact information and a QR code.

防災カフェ

地震の備えについて 学ぶ

身近になってきているという災害！地震。備えは出来ていますか？
一人では解決できない課題や備えについて、阪神淡路大震災や熊本地震を経験された方のお話を聞いて、一緒に考えてみましょう。

日時 9月17日(金)
10時～12時
場所 真備支所101会議室
対象 倉敷市の方ならどなたでもOKです
参加費 200円
申し込み方法
コロナ感染対策により人数の把握のため下記の2次元コードまたは電話にてお申し込みください。

講師：NPO災害看護支援 山中 弓子先生
阪神淡路大震災を経験し、NICUでの防災班として活動、東日本大震災、熊本地震後の災害支援を経て、西日本豪雨後の災害支援にも携わる。
【資格】看護師、防災士
【主な活動】親子支援、災害看護支援、訪問看護、訪問介護

講師：岩本 淳子先生 (保育士)
なのはな保育園取締役
はなえみ保育園園長
熊本県益野町で熊本地震を経験され保育士として、子育てで世帯のよき理解者として、復興支援に、保育に尽力されています。今回は会場と熊本をオンラインにてつないで、子どもたちをはじめ、家族や大切な人を守るためのヒントとなるお話を伺いたいと思います。

主催：川辺復興プロジェクトあるく
後援：倉敷市
令和3年度岡山県青少年職業体験型協働事業

【お問い合わせ・申し込み先】
倉敷市真備町川辺123-1
メルベーク103号
川辺復興プロジェクトあるく
TEL 080-5752-0111 (午前9時～17時)
メールアドレス aruku.2018.10.12@gmail.com

○まず、何から準備する？
○何が大事なん？
○地震の備えは？
○身にきた地震にどう対処する？
○備えは？

延期

オンラインで視聴できるように調整中

収録日
10月20日

9月17日開催予定であったが、コロナ感染拡大による緊急事態宣言発令につき延期となった。「気軽に参加できるオンライン講演会として開催できるようにしてほしい」との声もあり収録する。

防災カフェ「LINEを使ってみよう！」

(開催目的)

日常は、イベント情報の共有と、世代間を越えた繋がりを深める役割となっているLINE。災害時にLINEを使って情報を共有し使えるようにするため、基本の操作を繰り返し行い、習得できる。

- (開催内容)
- 1, 絵文字やスタンプのダウンロード
 - 2, ビデオ通話の仕方
 - 3, 声のメッセージ（留守番電話のようなもの?）
 - 4, 「LINEを使ってみよう」のグループを作って投稿し合う

(感想) 「可愛いスタンプ使えるようになって楽しい」

「知らないアプリ、便利なアプリを取れてよかった」

「このイベントに参加したことで、スマートフォンを触るのが増えた」

「操作することを怖がらずに、スタンプを取り込んだり使うなどできて楽しい！」

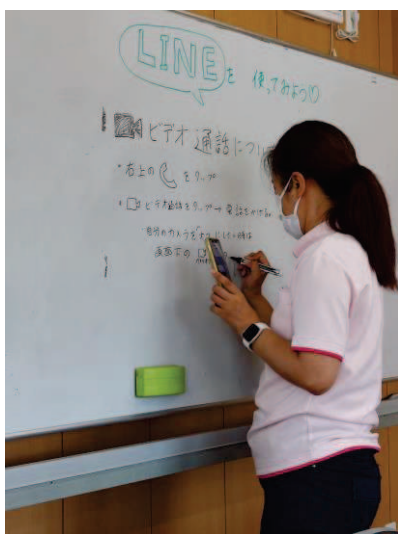
「個人LINEとグループLINEの使い分けができるようになった」

「グループLINEに投稿された内容を見ることで現状が共有、把握できる」

「スタンプ利用は、気軽にコミュニケーションができるので楽しい」

(課題) 繰り返し復習することで習得を目指しているので、内容は大きく変えず開催する。

機種によって操作が違うこともありそれぞれに対応する。



防災おやこ手帳 配布の準備作業

新年度になり、メディアにも取り上げられるなど、県内外からの問い合わせや申し込みがあった。また、本来の届け先として考えていた、おやこ健康手帳（母子手帳）を発行した妊婦さんにも倉敷市保健推進室から説明をして渡してもらい、災害から子どもを守ることを考えるきっかけとなっている。

9月6日に全国放送で紹介されたことで問い合わせが殺到した。問い合わせをされたほとんどが、当該地域で、防災士として、福祉団体として、地域の代表として、防災会のリーダーとして、防災の活動や子育て支援や何らかの取り組みをされている。近年の気候変動による水害の頻発や直前の土砂災害が起こるなど、危機感が要因のようである。

紹介された内容がわかりやすかったことも理由であるが、被災経験をもとにして制作されていること、掲載がシンプルで取り組みやすい内容であることが申し込みにつながったと思われる。

連絡先も番組内では放送されていなかったにもかかわらず、放送直後から電話やメールが入り対応に追われた。県民局の方にも申し込みがあり対応いただいた。

9月25日には山陽新聞にも掲載され、県内からの申し込みがあり対応中。

【9月中の実績】

配布対応人数 延べ100人

配布対応日数 約20日

配布問い合わせ件数 約100件

配布冊数 約2000冊

【2020年10月発行後から現在までの累計】

配付冊数 約125,000冊

「防災おやこ手帳を地区の皆さんにニュースレターにてご紹介してお配りします」とお礼状と同封されている。

他にも地域で活動している冊子やチラシ、防災おやこ手帳に追記しては？と、ご意見を同封されるなど、防災活動に活用されていることを嬉しく感じている。



防災おやこ手帳第2弾（非常持ち出し品や備蓄について）製作

昨年作成した防災おやこ手帳は、非難行動に移るまでの意識付けや、避難先をまず決めていざという時最低限必要な情報をいれていた。わかりやすいと好評であるが、被災経験をもとに被災したからこそ見えてきた非常持ち出し品や備蓄品に絞った内容の冊子を作成し、県内外の方の備えのきっかけづくりにしたい。

現在制作中

(意見だし会議) 9/17 8人
 9/24 11人
 9/29 9人

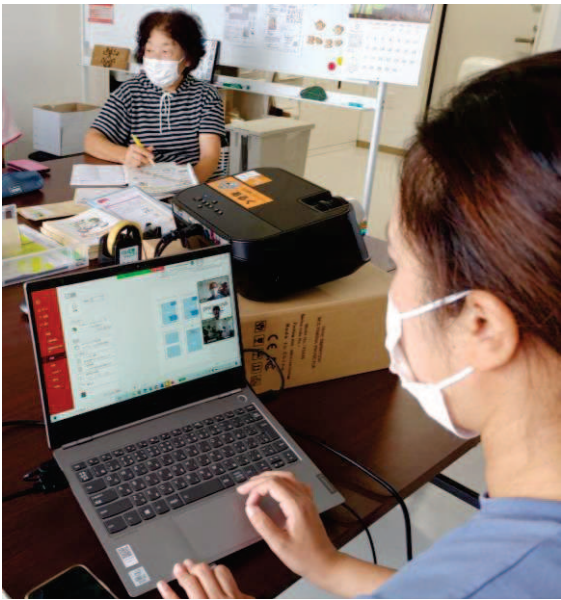
その他 エピソード原稿依頼
 写真撮影
 原案入稿
 校正

など調整中

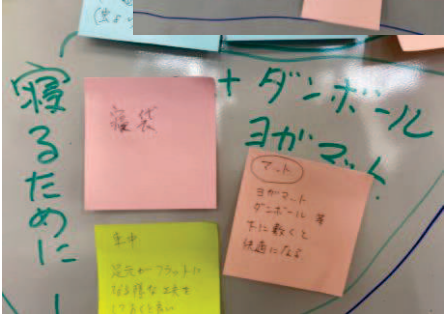
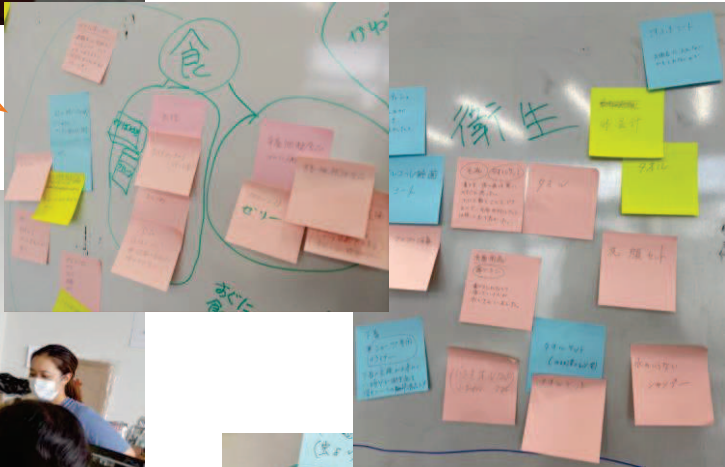
(主な内容)
 水害派は備えができる唯一の災害
 対象はおおむね子育て中の親世代に伝える

経験者のエピソード
 避難するときに考慮すべきこと
 大切なものはどのようにしておく？
 被災後の生活再建への情報
 食事について

など、経験者として伝えたいことを盛り込む予定



避難準備品のリストに入れるものを書きだしました



あるく通信

ご卒業・ご卒業を迎えた皆様、その家族の皆様、おめでとうございます。コロナ感染対策で縮小しての開催ですが、どちらのお式も温かい雰囲気の中で挙行されたと聞きました。災害…コロナ…様々な出来事を乗り越えてのご卒業・ご卒業を迎えられた皆さんは、心豊かで、優しさをもった人に成長されたと思います。新しい門出を心からお祝いし、これからの生活を応援しています。

さて、いつもあるくの活動にご理解とご協力をありがとうございます。4月からは、コロナで活動を制限する前と同じぐらいのイベントを計画しています。

これからも、感染予防に配慮し、状況を見ながら安心して開催できるようにしていきたいと思ひます。

マスクの着用、手指の消毒、体調管理などのご協力をお願いします。

天気の良い日は屋外での開催もあります。上着などをお持ちくださいね。

イベントの参加は、事前予約が必要なものもあります。



今回の郵送がラストです！

発災後長期にわたり、倉敷市からあるく通信を皆様のお手元にお届けいただきましたが、**郵送でのお届けは今回の『4月号』で終了です。**(ただし、みなし仮設住宅にお住まいの方など一部の方には継続して、倉敷市から郵送される予定です。)原則として川辺地区にお住まいの方には郵送では届かなくなりますので、ご注意ください。

「川辺復興プロジェクトあるく」は、発災後の支援拠点として、また、コミュニティの再建を目指して活動してきました。今後も、みなさんが真備町でつながりを感じながら、少しでも安心して暮らすことができる地域となるように活動を継続していきます。そして、様々な情報を提供していきたいと考えていますので、今後もあるく通信をお受け取りいただけたらと思います。

今後は、下記の4つの方法でお知らせをします。

①LINEグループ 「川辺地区みんなの会」

参加が必要です。
下記をご覧ください。



②あるくのfacebookページ

インターネットで
「川辺 あるく」と
検索してください。



③郵送で受け取る

あるくから直接郵送します。
お申し込みは、お電話で。
080-5752-0111(午前9時~17時まで)



④あるくで直接受け取る



友達追加はこちらから

☆ グループLINE「川辺地区みんなの会」への参加方法

- ①すでに参加している知人やご近所さんに招待してもらう。
- ②あるくのスタッフに声をかける。
- ③あるく公式LINEと友達になり「川辺地区みんなの会に参加希望」とコメントする。

不安な方、ひとまず相談したい方はあるくにお電話ください。

令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業『水害は逃げるが勝ち！』採択決定！

私たちが真備町・川辺地区で安心して暮らしていくためには、「防災・減災」の取り組みが必要不可欠です。

そこで、令和2年度より、備中県民局さんと協働して、『地域防災活動の推進』を目的に『防災カフェ』『川辺みらいミーティング』『キッズ防災イベント』などの開催や『防災おやこ手帳の発行』『川辺の事例や体験を県内外に伝え、風化防止と水害への備えの大切さの伝承』などを行ってきました。また、今現在は、安否確認グッズ『黄色いタスキ』の配布を行っています。

来年度についても、令和2年度の実績を認めていただき、継続して県民局さんにお力添えをいただきながら、地区防災を進めていくことができます。

地区防災は、計画・運営をしている人だけでは進めることができません。真備町・川辺地区に住んでいる一人一人の意識と行動が、「逃げ遅れゼロの町」を上げるためにはとても重要です。

黄色いタスキを活用した**防災訓練と体験型防災イベントを5月16日に川辺小学校で行う予定**です。ぜひ、ご参加ください。詳細は後日お知らせいたします。



3月4日 備中県民局にて、令和3年度の事業についてプレゼンをしました。

問い合わせ・予約:

あるく携帯電話 080-5752-0111(午前9時~17時)

住所: 倉敷市真備町川辺725-15

協力: 川辺地区まちづくり推進協議会

『あるく』4月のイベント予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
			1 体の循環ヨ ガの会 10:00～ 11:30	2 あるく休み	3 あるく休み	4 あるく休み
5 リラックス ヨガの会 10:00～ 11:30	6 あるく休み	7 あるく休み	8 あるく休み	9 あるく休み	10 あるく休み	11 あるく休み
12 リラックス ヨガの会 10:00～ 11:30	13 LINEを使 ってみよ う 10:00～ 11:30	14 ジーンズの リメイクの 会 9:30～ 12:00	15 くらしとお 金の学び 舎 10:00～ 11:30	16 あるく休み	17 あるく休み	18 お抹茶の 会 10:00～ 11:30
19 リラックス ヨガの会 10:00～ 11:30	20 あるく休み	21 あるく休み	22 アロマクリ ームを作ろ う 10:00～ 11:30	23 あるく休み	24 あるく休み	25 多肉植物 の寄せ植 え体験 10:00～ 11:30
26 リラックス ヨガの会 10:00～ 11:30	27 ジーンズの リメイクの 会 9:30～ 12:00	28 耳つぼジュ エリー・薬 膳茶の会 10:00～ 11:30	29	30		

問い合わせ・ご予約・キャンセル:
あるく携帯電話 080-5752-0111(午前9時～17時)
協力団体:川辺地区まちづくり推進協議会



～ ご寄付をいただきました ～
山野様 おはなしのWA♪様

真備町・川辺の住民が安心して生活できる
地域づくり活動のため、大切に活用させてい
ただきます。

～参加者のみなさまへ～

- ☆ マスクの着用・持参をお願いします。
- ☆ 体温計測にご協力ください。
- ☆ 手指の消毒液・予備のマスクはこちらで用意します。
- ☆ 風邪症状や発熱など体調が悪い方は、しっかりと
治してからご参加くださいね。

あるくの活動は、ピースウィンズ・ジャパン、
令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業、ご寄付により運営しています。

あるく通信

『あるく』 4月のイベント内容

<p>1日(木)『体の循環ヨガの会』 子育て世代の方・初心者大歓迎！自分の体を大切にしていますか？食べ物や規則正しい生活はもちろんですが、適度な運動は体と心を整える助けになります。呼吸を大切にしながら動き、体に巡る血液やリンパの流れを良くしていきましょう。循環する体は若々しい心も育みます。ぜひご体験ください。</p> <p>※要予約（定員10名）参加費：300円（インストラクター 綾野奈帆子先生） 持ち物：ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル 場所：川辺分館 和室 次回5月13日予定</p>
<p>5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)『リラックスヨガの会in川辺分館』 お部屋を広々と使って、気持ちよく体を動かしましょう。持ち物：ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル※要予約(定員15名) 参加費：300円（インストラクター 綾野奈帆子先生） 場所：川辺分館 集会室 5月の予定 10日(月)17日(月)24日(月)31日(月)</p> 
<p>13日(火)『LINEを使ってみよう～防災カフェ～』LINE初心者大歓迎！平時にも有事にも大活躍のLINE。メッセージのやり取りをしたり、写真を送ったり、スタンプを使ったりなどをみんなでワイワイとLINEを使ってみましょう。※LINEアプリを事前にダウンロードしてきてください。 ※要予約（定員 5名）参加費：100円 場所：あるくテント下(寒ければ、あるく室内)</p>
<p>14日(水)・27日(火)『ジーンズのリメイクの会』 ジーンズやジーンズ生地の耳を使って小物を作ってみませんか？(例:ティッシュカバー、ポケットティッシュ入れ)☆レッスンバッグのキットもありますよ。 ※要予約(定員 5名) 参加費：100円～500円(作る作品によって参加費が変わります。) 持ち物：裁縫道具(なければお貸しできますよ。お気軽にお申し付けくださいね。)</p> 
<p>15日(木)『くらしとお金の学び舎』より良い暮らしのための金融経済知識を学ぼう。 ※参加者登録制の為満席 参加費：無料 持ち物：筆記用具・電卓・飲み物 (提供：岡山県金融広報委員会様 講師：金融広報アドバイザー佐藤香名様)</p>
<p>18日(日)『お抹茶の会』 美味しいお抹茶とお菓子でホッと一息しませんか？ ※予約不要(先着30名) 参加費：200円(今回より金額を変更させていただいています。) (提供：裏千家 中村さんチーム様)</p>
<p>22日(木)『アロマクリームを作ろう♪ハンドマッサージもあるよ』マスクでの肌荒れや乾燥など気になる方はいませんか？全身に使えるアロマクリームを作ります。ご希望の方はワークショップの後に、ハンドマッサージもできますよ。 ※要予約（定員10名）参加費：300円 （提供：アロマセラピストチーム岡山様）</p> 
<p>25日(日)『多肉植物の寄せ植え体験』 ぷくぷくと可愛い多肉植物をご家庭に♪ 先生がお世話の仕方も教えてください。以前、寄せ植えをされた方のお直しもできますよ。 ※要予約(定員8名)参加費：一鉢500円(お直し400円) 場所：あるくテント下 (提供：たにあい様)</p>
<p>28日(水)『耳つぼマッサージと耳つぼジュエリー』肩こり・腰痛・疲れ目・ストレスなどの不調を改善、リフトアップも！ ※要予約(定員5名程度) 参加費：耳つぼジュエリーつけ放題500円 (提供：まる様)</p>
<p>28日(水)『薬膳茶の会』あなたの体調やお悩みに合わせた薬膳茶をブレンドします。心と身体の声聞いてみましょう。 ※要予約(定員5名程度)参加費：200円 (提供：国際薬膳師 ふじた先生)</p>

～大切なお知らせ～ 【防災訓練&体験型防災イベント 開催します】

「黄色いタスキ」は、ご自宅に届きましたか？先日は「2世帯(玄関が2つ)だから、もう1つ欲しいです。」とのご連絡もいただき、ご活用いただけていることを嬉しく思っています。逃げ遅れゼロに向けて、黄色いタスキを全世帯にお届けします。防災訓練の1週間程度前になってもご自宅に届かない場合は、直接あるくにご連絡ください。

第7回川辺みらいミーティング「防災訓練&体験型防災イベント(仮名)」

開催日：5月16日(日) 13:30~16:00 イベント会場：川辺小学校体育館

内容：『みんなで黄色いタスキを玄関先に結んでみよう！』

(災害時の安否確認の訓練：町内会長さんにタスキを結んでいる世帯の把握をしていただきます。)

『体験型防災イベント』マイタイムラインについて・小田川プロジェクトについて・防災グッズの展示・

防災キッズコーナー・川辺小の子どもたちが作成した防災マップや復興マップの掲示など 予定

※ 詳細については、後日チラシを配布します。4月中旬を予定しています。


あるく通信

みなさん、お変わりありませんか？

報道されるコロナ感染者の数に驚いたり、気を引き締めたりの日々ですね。自粛生活の中でストレスを抱えたり、運動不足になったりして免疫力を下げってしまう場合も多いと聞きます。防災の心得と同様、『正しく恐れて、正しく備える』の精神で、感染予防をしっかりとしながら、密にならないように気候のいい今の時期に散歩などのお出かけを楽しみたいですね。

5月もイベントを企画しています。このような状況なので、急遽、中止や変更がある場合もあります。その時には、予約者に電話連絡をしますので、お知りおきくださいね。

5月の予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
5月1日～5月9日までお休み				黄色いタスキ大作戦(安否確認訓練)のみ、開催します。		
10 リラックスヨガの会 10:00～ 11:30	11 LINEを使ってみよう 10:00～ 11:30	12 ジーンズのリメイクの会 9:30～ 12:00	13 体の循環ヨガの会 10:00～ 11:30	14 あるく休み	15 多肉植物の寄せ植え体験 10:00～ 11:30	16 黄色いタスキ大作戦・防災フェス
17 リラックスヨガの会 10:00～ 11:30	18 アウトドア防災『車中泊&キャンプ飯』 10:00～ 12:00	19 あるく休み	20 くらしとお金の学び舎 10:00～ 11:30	21 耳つぼ・薬膳茶の会 10:00～ 11:30	22 あるく休み	23 あるく休み
24 リラックスヨガの会 10:00～ 11:30	25 あるく休み	26 ジーンズのリメイクの会 9:30～ 12:00	27 除菌アロマジェルを作ろう 10:00～ 11:30	28 あるく休み	29 あるく休み	30 お抹茶の会 10:00～ 11:30
31 リラックスヨガの会 10:00～ 11:30	<p>～参加者のみなさまへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ マスクの着用・手指の消毒液・体温計測にご協力ください。 ☆ 急なイベントの変更があった場合、予約者には電話で連絡します。 ☆ 風邪症状や発熱など体調が悪い方は、しっかりと治してからご参加くださいね。 					<p>マスクの下は</p>  <p>笑顔です！</p>

あるくの活動は、ピースウィンズ・ジャパン、令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業、ご寄付により運営しています。

今月より、活動・イベントの様子や報告はfacebookページでさせていただきます。
『川辺 あるく』で検索してくださいね。

ありがとうございます
ごさいました

～ ご寄付をいただきました ～
匿名希望様

真備町・川辺の住民が安心して生活できる地域づくり活動のため、大切に活用させていただきます。

問い合わせ・予約：
あるく携帯電話 080-5752-0111(午前9時～17時)
住所：倉敷市真備町川辺725-15
協力：川辺地区まちづくり推進協議会

平成30年7月7日 西日本豪雨から川辺地区住民が中心となり復興をめざす 川辺復興プロジェクト あるく

10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)『リラックスヨガの会in川辺分館』

お部屋を広々と使って、気持ちよく体を動かしましょう。持ち物:ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル※要予約(定員15名) 参加費:300円(インストラクター 綾野奈帆子先生)
場所:川辺分館 集会室 6月の予定 7日(月)14日(月)28日(月)



11日(火)『LINEを使ってみよう～防災カフェ～』LINE初心者大歓迎! 平時にも有事にも大活躍のLINE。メッセージのやり取りをしたり、写真を送ったり、スタンプを使ったりなどをみんなでワイワイとLINEを使ってみましょう。※LINEアプリを事前にダウンロードしてきてください。
※要予約(定員5名) 参加費:300円 場所:てくてく

12日(水)・26日(水)『ジーンズのリメイクの会』

ジーンズやジーンズ生地の耳を使って小物を作ってみませんか?(例:ティッシュカバー、ポケットティッシュ入れ)☆レッスンバッグのキットもありますよ。

※要予約(定員5名) 参加費:100円～500円(作る作品によって参加費が変わります。)
持ち物:裁縫道具(なければお貸しできますよ。お気軽にお申し付けくださいね。)



13日(木)『体の循環ヨガの会』子育て世代の方・初心者大歓迎! 自分の体を大切にしていますか? 食べ物や規則正しい生活はもちろんですが、適度な運動は体と心を整える助けになります。呼吸を大切にしながら動き、体に巡る血液やリンパの流れを良くしていきましょう。循環する体は若々しい心も育みます。※要予約(定員10名) 参加費:300円(インストラクター 綾野奈帆子先生)
持ち物:ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル 場所:川辺分館 集会室 次回6月10日予定

15日(土)『多肉植物の寄せ植え体験』

ぷくぷくと可愛い多肉植物をご家庭に♪

先生がお世話の仕方も教えてくださいます。以前、寄せ植えをされた方のお直しもできますよ。

※要予約(定員8名)参加費:一鉢500円(お直し400円) 場所:あるくテント下(提供:たにあい様)



16日(日)『黄色いタスキ大作戦(安否確認訓練)・体験型防災フェス』対象:川辺地区にお住いのみなさま13時～16時まで黄色いタスキを玄関にくくりつけてください。地区委員さんや担当者が災害時の安否確認を想定して、黄色いタスキを掲げている軒数をカウントします。いざという時に、共助の精神で助け合うことができる地域づくりに向けた訓練です。ぜひ、ご参加ください。※防災フェスはコロナ感染防止のため、延期します。

18日(火)『アウトドア防災・車中泊&キャンプ飯～防災カフェ～』出水期を前に、今注目の『車中泊』の大切なポイントとメスティン(飯ごう)を使った、簡単で美味しい防災食を香川大学 磯打干雅子先生に教えていただきます。(メスティンなどの調理器具を一人ずつ用意し、試食は十分な距離をとって屋外で行います)

※要予約(定員8名) 参加費:500円 場所:あるくテント下

20日(木)『くらしとお金の学び舎』

より良い暮らしのための金融経済知識を学ぼう。

※参加者登録制の為満席 参加費:無料 持ち物:筆記用具・電卓・飲み物

(提供:岡山県金融広報委員会様 講師:金融広報アドバイザー佐藤香名様)

21日(金)『耳つぼマッサージと耳つぼジュエリー』肩こり・腰痛・疲れ目・ストレスなどの不調を改善、リフトアップも! ※要予約(定員5名程度) 参加費:耳つぼジュエリーつけ放題500円(提供:まる様)

21日(金)『薬膳茶の会』あなたの体調やお悩みに合わせた薬膳茶をブレンドします。心と身体の声聞いてみましょう。
※要予約(定員5名程度)参加費:200円(提供:国際薬膳師 ふじた先生)

27日(木)『除菌アロマジェルを作ろう♪ハンドマッサージもあるよ』除菌と共に気分転換♪オリジナルアロマジェルを作ります。ご希望の方はワークショップの後に、ハンドマッサージもできますよ。

※要予約(定員10名) 参加費:300円(提供:アロマセラピストチーム岡山様)

30日(日)『お抹茶の会』

美味しいお抹茶とお菓子でホッと一息しませんか?

※要予約(定員20名) 参加費:200円(提供:裏千家 中村さんチーム様)

※ コロナ感染症対策や準備のため、すべてのイベントが予約制になっています。感染状況によっては、延期や変更になる場合もありますので、その時には予約者に電話をします。

※ 当日、空きがある場合は参加できる場合もあります。080-5752-0111にお問い合わせください。その他の予定

6月6日(日) ペットと一緒に♪日々の生活といざという時のために～防災カフェ～

6月27日(日) 岡山県子ども会連合会研修会で講演活動

あるく通信

皆様、お変わりありませんか？

例年よりも早い梅雨入りですね。カエルの声も響いています。

そして、岡山県も緊急事態宣言の対象地域となり、不要不急の外出を控え、再び、家で過ごす時間が増えましたね。この機会に、「久しぶりに友達に連絡を取ってみた。」とか、「趣味を再開した。」との話も聞きます。この時期だからできることをしながら、コロナ感染拡大が収まった時のことを楽しみに過ごしたいですね。



6月のイベントもお休みします。

今現在(5/25)では、緊急事態宣言の期間は5月末までとされていますが、人の流れを生み出さず、感染者がゼロになるように、6月のイベントをお休みすることにしました。

安心して集まることができる日を楽しみに、今は我慢の時ですね。また、イベントを再開できるようになったら、どんな過ごし方をしていたのか聞かせてくださいね。

黄色いタスキ大作戦 ～安否確認訓練～

5月16日(日)に、黄色いタスキを活用した安否確認訓練を川辺地区にお住まいの方対象に実施しました。

この訓練ができたことは、今後の川辺防災に向けた大きな一歩になったと感じています。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

最終結果やお寄せいただいたご意見については、後日ご報告したいと思っています。今しばらくお待ちくださいね。



カウントをしてくださった、町内会役員さんや担当者のみなさま、お疲れさまでした。

約65%の方がタスキを結んで参加しました。素晴らしい!

子どもたちも参加！みんなで逃げ遅れゼロを目指そう!



防災カフェ「車中泊避難ってどう備えたらいい？」

コロナ禍の中、集まって研修会をすることも難しいですね。でも、今年は早々に出水期に突入！何かできることを・・・と思い、防災研修動画を作成しました。昨年も「勉強になった！」と大好評だった、車中泊についてを香川大学地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打千穂子先生に再度、教えていただいています。「車中泊の基本のキ」として、ご参考にしていただけたら幸いです。

動画は、インターネットが使用できるスマホやパソコンでご覧ください。

この動画は、どなたでも観ていただけますので、あなたの大切な人にもぜひご紹介くださいね。

動画のURL <https://youtu.be/ekg40yQBZDk>



和歌山県・橋本市立あやの台小学校6年生の防災教室にお邪魔しました。

今回はZOOMを活用して、真備町の被災状況やあるくの活動、榎原家の失敗だらけの避難行動などを子どもたちにお話ししました。避難行動に関する〇×△クイズは大盛り上がり！質問コーナーでは積極的に質問をしてくれました。「どうして、被災した街に戻ったんですか?」「榎原さんにとっての“災害”“復興”“幸せ”って何ですか?」などなど、感じて、考えて、自分なりに答えを見つけようとする子どもたちの姿に感動しました。今後も継続して関わらせていただくことになりました。どんな学びになるのか、とても楽しみです。



6・7月の予定

防災カフェ「ペット避難について」 動画配信予定

リラックスヨガ 7月5日・12日・26日

体の循環ヨガの会 7月8日

小物づくりの会 7月14日・28日 その他も企画中

問い合わせ・予約:

あるく携帯電話 080-5752-0111(午前9時～17時)

住所: 倉敷市真備町川辺725-15

協力: 川辺地区まちづくり推進協議会

平成30年7月7日 西日本豪雨から川辺地区住民が中心となり復興をめざす **川辺復興プロジェクト あるく**

あるく通信

みなさん、お変わりありませんか？

緊急事態宣言が解除され、少しほっとしています。しかし、気のゆるみでリバウンドをしないように、感染予防対策をしながら、7月のイベントを開催します。気晴らしにお越しください。

～おしらせ～

あるく事務所前の看板に『あるく通信』を置いておきますので、必要な方はお友達の分もご自由にお持ち帰りください。また、LINEグループ「川辺地区みんなの会」でも情報共有しています。参加したい方は招待いたしますので、お問い合わせくださいね。



7月の予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
			1 あるく休み	2 あるく休み	3 あるく休み	4 あるく休み
5 リラックスヨ ガの会 10:00～ 11:30	6 子どもと避 難～防災グ ッズ～ 10:00～ 11:30	7 あるく休み	8 体の循環ヨ ガの会 10:00～ 11:30	9 あるく休み	10 あるく休み	11 あるく休み
12 リラックスヨ ガの会 10:00～ 11:30	13 あるく休み	14 ジーンズの リメイクの会 9:30～ 12:00	15 あるく休み	16 あるく休み	17 あるく休み	18 お抹茶の会 10:00～ 11:30
19 耳つぼ・薬 膳茶の会 10:00～ 11:30	20 くらしとお金 の学び舎 10:00～ 11:30	21 あるく休み	22(祝日) 除菌アロマ ジェルを作ろ う 10:00～ 11:30	23(祝日) あるく休み	24 あるく休み	25 多肉植物の 寄せ植え体 験 10:00～ 11:30
26 リラックスヨ ガの会 10:00～ 11:30	27 LINEを使っ てみよう 10:00～ 11:30	28 ジーンズの リメイクの会 9:30～ 12:00	29 あるく休み	30 あるく休み	31 あるく休み	

～参加者のみなさまへ～

- ★ マスクの着用・手指の消毒液・体温計測にご協力ください。
- ★ 急なイベントの変更があった場合、予約者には電話で連絡します。
- ★ 風邪症状や発熱など体調が悪い方は、しっかりと治してからご参加くださいね。

- あるくの活動は、ピースウィンズ・ジャパン、令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業、ご寄付により運営しています。
- 活動・イベントの様子や報告はfacebookページでさせていただきます。『川辺 あるく』で検索してくださいね。

ありがとう
ごさいませ

～ ご寄付をいただきました ～

ミヤゾノ様・カトウ様・ハシウチ様

真備町・川辺の住民が安心して生活できる
地域づくり活動のため、大切に活用させてい
たいただきます。

問い合わせ・予約:

あるく携帯電話 080-5752-0111(午前9時～17時)

住所: 倉敷市真備町川辺725-15

協力: 川辺地区まちづくり推進協議会



<p>5日(月)・12日(月)・26日(月)『リラックスヨガの会in川辺分館』 お部屋を広々と使って、気持ちよく体を動かしましょう。持ち物:ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル ※要予約(定員15名) 参加費:300円 (インストラクター 綾野奈帆子先生) 場所:川辺分館 集会室 8月の予定 2日(月)16日(月)23日(月)30日(月)</p>
<p>6日(火)『子どもとの避難～防災グッズ～防災カフェ～』出水期を前に、子どもと一緒に避難するときに必要な防災グッズや持ち出し品について考えてみます。もし、お家で用意しているものがあつたら、ぜひ持ってきてみんなで見せ合ひましょう。もちろん、手ぶらでの参加もOKです。子どもが喜びそうな保存食(お菓子など)の試食もあります。 ※要予約 (定員8名) 参加費:200円</p>
<p>8日(木)『体の循環ヨガの会』子育て世代の方・初心者大歓迎!自分の体を大切にしていますか?食べ物や規則正しい生活はもちろんですが、適度な運動は体と心を整える助けになります。呼吸を大切にしながら動き、体に巡る血液やリンパの流れを良くしていきましょう。循環する体は若々しい心も育みます。※要予約(定員10名) 参加費:300円 (インストラクター 綾野奈帆子先生) 持ち物:ヨガマット又はバスタオル、飲み物、タオル 場所:川辺分館 集会室 8月の予定 12日(木)</p>
<p>14日(水)・28日(水)『ジーンズのリメイクの会』 ジーンズやジーンズ生地の耳を使って小物を作ってみませんか?(例:ティッシュカバー、ポケットティッシュ入れ)☆レッスンバッグのキットもありますよ。 ※要予約(定員5名) 参加費:100円～500円(作る作品によって参加費が変わります。) 持ち物:裁縫道具(なければお貸しできますよ。お気軽にお申し付けくださいね。)</p>
<p>18日(日)『お抹茶の会』美味しいお抹茶とお菓子でホッと一息しませんか? ※要予約(定員20名) 参加費:200円(提供:裏千家 中村さんチーム様)</p>
<p>20日(火)『くらしとお金の学び舎』より良い暮らしのための金融経済知識を学ぼう。 ※参加者登録制の為満席 参加費:無料 持ち物:筆記用具・電卓・飲み物 (提供:岡山県金融広報委員会様 講師:金融広報アドバイザー佐藤香名様)</p>
<p>19日(月)『耳つぼマッサージと耳つぼジュエリー』肩こり・腰痛・疲れ目・ストレスなどの不調を改善、リフトアップも! ※要予約(定員5名程度) 参加費:耳つぼジュエリーつけ放題500円 (提供:まるる様)</p>
<p>19日(月)『薬膳茶の会』あなたの体調やお悩みに合わせた薬膳茶をブレンドします。心と身体の声聞いてみましょう。 ※要予約(定員5名程度)参加費:200円 (提供:国際薬膳師 ふじた先生)</p>
<p>22日(木)『除菌アロマジェルを作ろう♪ハンドマッサージもあるよ』除菌と共に気分転換♪オリジナルアロマジェルを作ります。ご希望の方はワークショップの後に、ハンドマッサージもできますよ。 ※要予約(定員10名) 参加費:300円 (提供:アロマセラピストチーム岡山様)</p>
<p>25日(土)『多肉植物の寄せ植え体験』ぷくぷくと可愛い多肉植物をご家庭に♪ 先生がお世話の仕方も教えてください。以前、寄せ植えをされた方のお直しもできますよ。 ※要予約(定員8名)参加費:一鉢500円(お直し400円) 場所:あるくテント下 (提供:たにあい様)</p>
<p>27日(火)『LINEを使ってみよう～防災カフェ～』LINE初心者大歓迎! 平時にも有事にも大活躍のLINE。メッセージのやり取りをしたり、写真を送ったり、スタンプを使ったりなどをみんなでワイワイとLINEを使ってみましょう。※LINEアプリを事前にダウンロードしてきてください。 ※要予約 (定員5名) 参加費:300円</p>

※ コロナ感染症対策や準備のため、すべてのイベントが予約制になっています。感染状況によっては、延期や変更になる場合もありますので、その時には予約者に電話をします。

※ 当日、空きがある場合は参加できる場合もあります。080-5752-0111にお問い合わせください。

講演活動

7/2 市P連 東ブロック第2回母親委員会研修会

7/3 岡山市立興除公民館「防災語ろう会」

7/17 京都文教大学「地域防災人材育成講座」

防災カフェ

地震の備えについて 学ぶ

身近になってきているという災害！地震。備えは出来ていますか？

一人では解決できない課題や備えについて、阪神淡路大震災や熊本地震を経験された方のお話を聞いて、一緒に考えてみましょう。



講師：NPO災害看護支援
山中 弓子先生

阪神淡路大震災を経験し、NICUでの防災班として活動、東日本大震災、熊本地震後の災害支援を経て、西日本豪雨後の災害支援にも携わる。

【資格】看護師、防災士

【主な活動】
親子支援、災害看護支援
訪問看護、訪問介護

日時 9月17日(金)

10時～12時

場所 真備支所101会議室

対象 倉敷市の方ならどなたでも
OKです

参加費 200円

申し込み方法

コロナ感染対策により人数の把握のため下記の2次元コードまたは電話にてお申し込みください。



講師：岩本 淳子先生
(保育士)

なのはな保育園取締役
はなえみ保育園園長

熊本県益野町で熊本地震を経験され保育士として、子育て世帯のよき理解者として、復興支援に、保育に尽力されています。今回は会場と熊本をオンラインにてつないで、子どもたちをはじめ、家族や大切な人を守るためのヒントとなるお話を伺いたいと思います。

主催：川辺復興プロジェクトあるく
後援：倉敷市

令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業

- まず、何から準備する？
- 何が大事なん？
- 地震の備えは？
- 急に来る地震にどう対処する？
- 心構えは？

《お問い合わせ・申し込み先》
倉敷市真備町川辺123-1
メルベージュ103号
川辺復興プロジェクトあるく

TEL 080-5752-0111
(午前9時～17時)

メールアドレス
aruku.2018.10.18@gmail.com



黄色いタスキ大作戦

～安否確認訓練～

川辺地区にお住いの皆様へ

今年も出水期がやってきます。

“逃げ遅れゼロの川辺地区”を目指す取組のひとつとして、今回は黄色いタスキを活用した『安否確認訓練』を行います。

災害で命を落とす人がいないように、危険が差し迫っていることを知らなくて逃げ遅れた・・・そんな人を一人も生み出さないように、みなさんで地域力と防災力をアップしていきましょう。ぜひ、ご参加ください。

同時開催予定の

防災フェス（川辺小学校体育館）は、
コロナ感染拡大の為、延期します。

訓練日時

2021年5月16日(日) 13:00～16:00

～皆さんにさせていただくこと～

13:00 になったら、「黄色いタスキ」を自宅の玄関先に結びつける。

※ 当日、お出かけされる方は、前もってタスキを結んでおいてください。

※ 16:00まで掲げておいてください。



～黄色いタスキを掲げている軒数を数えます～

地区委員さん・担当者さんが皆さんの家をまわって軒数を数え、本部に報告します。

オンライン 速報！ 安否確認訓練の参加状況と成果報告

当日 (5/16) 15:00～

～内容～

- ・ 黄色いタスキの配布状況
- ・ 今回の訓練の参加状況
- ・ 香川大学 磯打千雅子先生による総評
など

～方法～

YouTubeで行います。下記のリンク・
QRコードからご覧ください。
https://youtu.be/zo02sg_hi9w



問い合わせ先・事務局 川辺復興プロジェクトあるく 080-5752-0111

タスキが届いていない方もご連絡ください

主催：川辺地区まちづくり推進協議会/川辺みらいミーティング実行委員会

協力：香川大学 防災・危機管理コース/川辺小学校/倉敷市/倉敷市真備地区関係事業所等連絡会/国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所/特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン/特定非営利活動法人みんなの集落研究所/古河電気工業株式会社

黄色いタスキチーム：愛育委員/衛生協議会/栄養改善協議会/川辺小学校PTA/川辺分館管理組合/川辺幼稚園PTA/倉敷消防団真備第1分団3部/民生委員/地区社会福祉協議会/婦人会/老人クラブ

(※団体名は50音順)



防災訓練(5/16)反省会資料

©

黄色いタスキ大作戦

西日本豪雨被災からおよそ3年が経とうとしている2021年5月、また出水期が近づいています。
私たちは逃げ遅れゼロを目指して活動を続けます。(川辺みらいミーティング実行委員会)

2021年5月27日

3年前の記憶を思い返しながら、真備町川辺地区の多くの住民皆さんが参加してくださった防災訓練“黄色いタスキ大作戦”が無事完了しました。

タスキを結ぶこと自体が大切なのではなく、この防災訓練によって災害に遭っても生き残るために必要なたつながりを考え直すきっかけができることが大切なのだと考えています。

多くの皆さんの協力と強い想いが感じられる活動となり、

参加された方も参加できなかつた住民の方の多くも強く思いを寄せてくださり反省すべき大切な意見も寄せてくださっています。いただいた意見を大切に次に繋いでいければと考えています。

黄色いタスキ大作戦

Training OPERATION for saving our life from disaster
by Kawabe Mirai-meeting in Mabi Okayama

密を避けたオンラインライン本部を設置

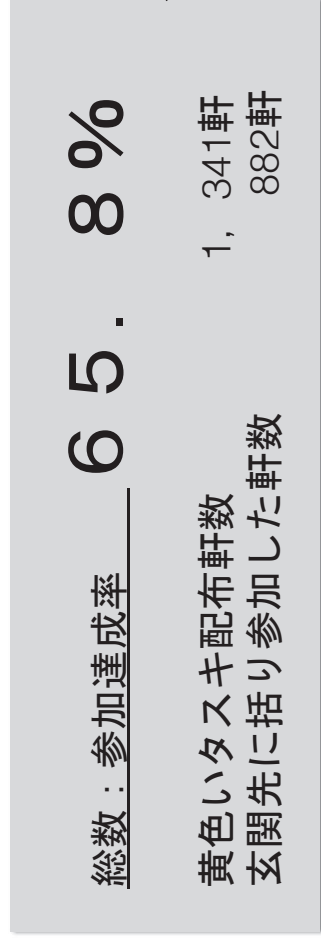
今回、最も苦労したこと（開催ができるか、どうやってできるか）



何より苦労したのは、新型コロナウイルスが拡大しているタイミングで重要な防災訓練をどのように実施できるかということでした。
実行委員会及び協力関係各位の強い後押しで、徹底した感染対策を行って無事実施することができました。

訓練概要と実施結果

参加状況の集計結果



【川辺地区まちづくり推進協議会加入世帯】

参加率 **77.5%**
町内会数 (全体53町内会数) 51町内会報告
参加軒数 (全体929軒) 720軒参加

【川辺地区まちづくり推進協議会未加入世帯】

参加率 **39.3%**
未加入世帯 (全体412軒) 162軒参加



大切に考えていること

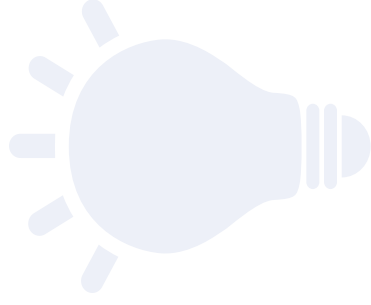
訓練を通じて住民の多くの方と一緒に考えていきたいこと

住民全体

防災(命)意識

日常の繋がりが

大切な道具
と準備



たくさんの方々が協力して、タスキを準備して配布していただきました。

タスキを住民みなさまへ事前配布

タスキを玄関で結ぶ

タスキの数カウント
(各町内会+民生委員協力)

電話やスマホ(ライン)で
各地区から本部報告して集計

結果発表、協力者インタビュー
(タスキの数)

ご家族やご近所で、**タスキの会話**ありましたでしょうか？
会話があること自体がとても大切ですね。

スマホ(ライン)はハードルが高いかもしれませんが、これからは**とても大切な道具**になるのかもしれない。

準備の過程で多くの方々の間で連絡方法や繋がりができたのではと思いますがいかがですか？

黄色いタスキ大作戦に関
わった方やご家族、ご近所
の方々は？

タスキの配布に関わった方々は連絡方法や配布の方法に悩まれたのではないのでしょうか？

配った方や受け取った方は、なんのためタスキと思って会話されませんでしたでしょうか？

町の様子を見ながら、3年前のころを思い返した方はいかがでしょうか？

改めて防災の準備の見直しをされた方はおられますでしょうか？

いざというときの連絡先を見直した方はおられますでしょうか？

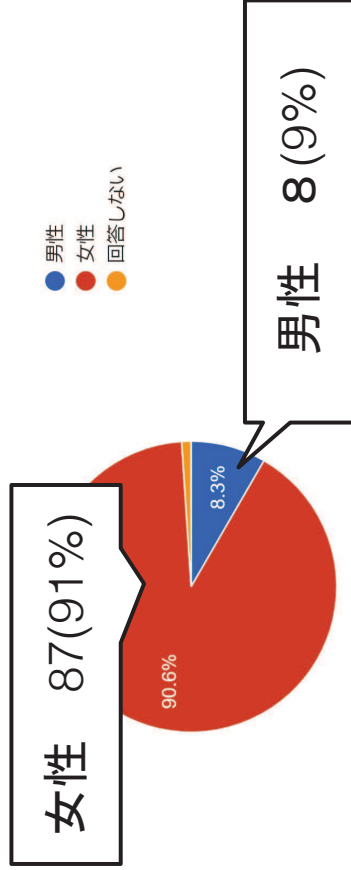
無事です

結果としてタスキの持った意味は？

アンケート回答(96件)結果集計(1/9)

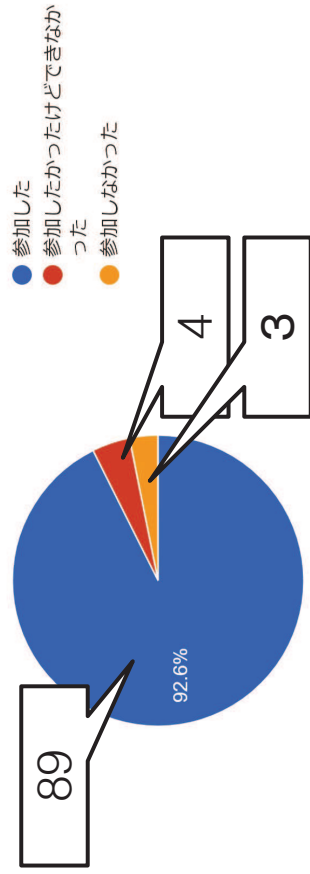
1. あなたの性別を教えてください

96件の回答



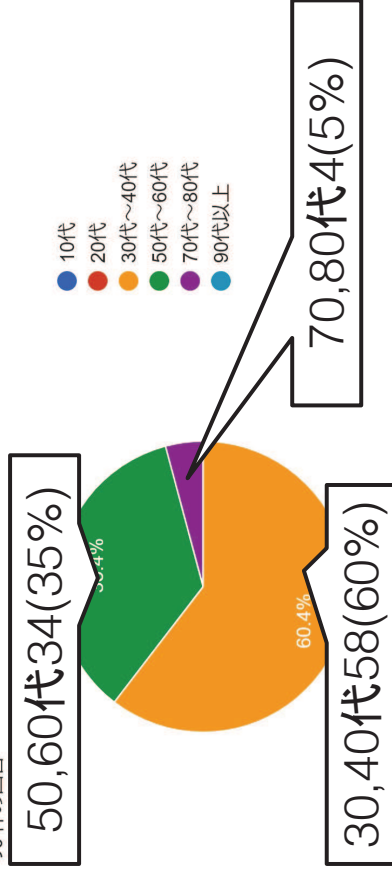
3. あなたは5月16日の黄色いタスキ大作戦～安否確認訓練～に参加しましたか？

95件の回答



2. あなたの年代を教えてください

96件の回答

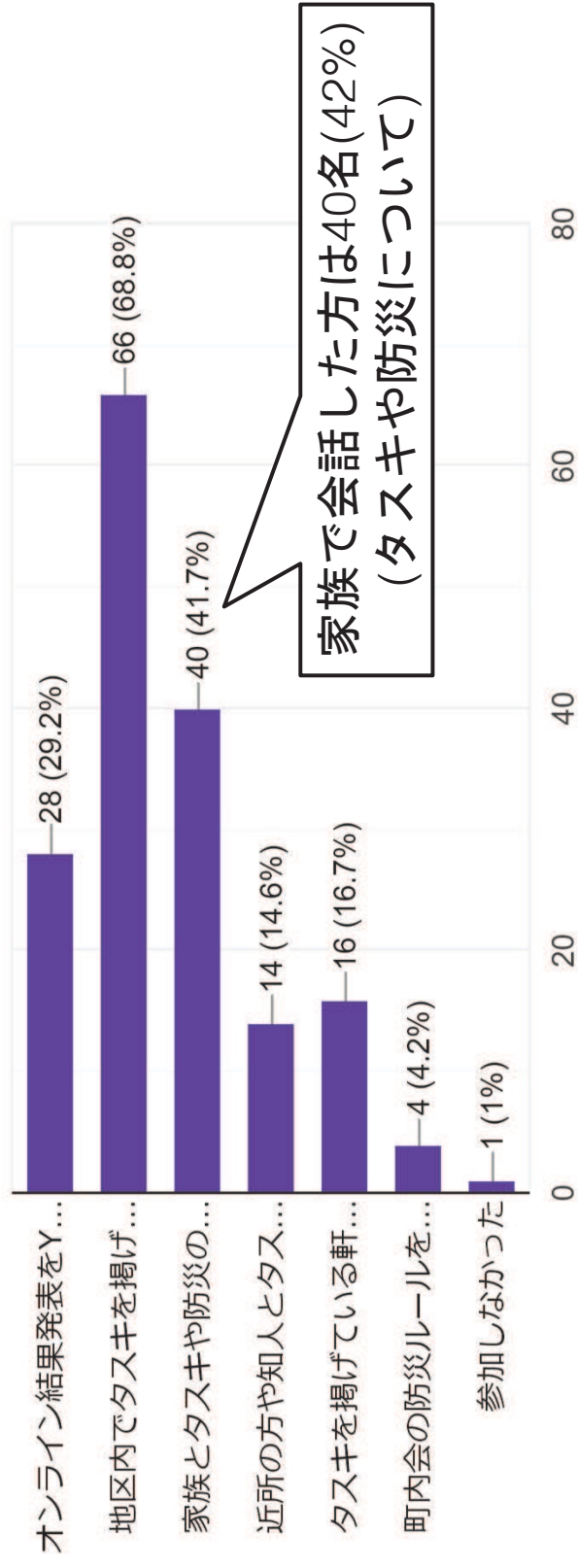


4. 参加できなかった・参加しなかった方は、理由を教えてください。(7件の回答)

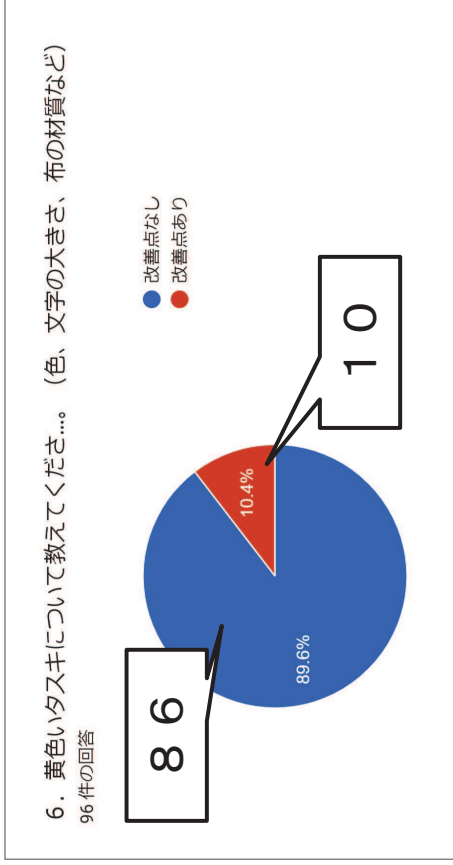
- ✓ 去年辺りから、勝手にやっってる感が強い
- ✓ 忘れていました。
- ✓ 娘が体調不良で失念していました。
- ✓ 県外に居たため
- ✓ 黄色のタスキがなかった
- ✓ 不在を伝えていたようで、防犯面の心配があるから。
- ✓ 黄色いタスキを配られていない。タスキをされてる家を見たら文字が印刷されていて配られているような感じだったので!!

アンケート回答(96件)結果集計(2/9)

5. タスキをくくる以外でしたことを教えてください。(複数可)
96件の回答



アンケート回答(96件)結果集計(3/9)



「改善点あり」と答えた方は、どのような点を改善すべきと思いますか？（11件の回答）

(1) タスキがとどいていない

これだけの反応をいただいた現状を考えると関心の高さが伺える。次回配布では**より入念な実行**が重要

- (2) 必要性が理解できない
- (3) 実際の避難有無がわからない
- (4) 空き巣など心配
- (5) 水害当日はわかりにくい

重要な課題指摘。まずは**住民意識を高める**ことに重心を置いていたが、**リアルな利用意義具体化検討**が必要

タスキ利用の**具体化**な意義の再確認と次回配布時の**念**な計画が重要となる。

上記を踏まええる前提であれば、**初回の黄色いタスキ大作戦**は**次**につながる重要な位置付けを果たすことができたか。

- ✓ すぐに破れそう
- ✓ 活動
- ✓ くくって目立つように、もっと原色の黄色、生地ももっと厚地が良いと思います。豪雨の時など見えにくいのでは。
- ✓ タスキが届いていない
- ✓ 災害が起こったときの**実用化**は難しそう。タスキを出して逃げるまでのような気がする。あとの確認作業はできないのでは？
- ✓ 災害時、窃盗など防犯面での危険があればあったのに、これを行う**必要性**が理解できない。
- ✓ 地区の方に全員に配られるものなのですか？**アパートの人や災害の訓練に参加していない人**には配布されないんですか？**実**際手にしていないのでわかりませんが。
- ✓ 住民への周知徹底がどのくらい可能なか。単にタスキを掲げるのを忘れているだけか、**実際**避難して**いないのか**の見極めが**難しい**
- ✓ 水害で泥水に浸かった後、茶色になって「黄色いタスキ」と**わかりにくくなる**かも**知**れませぬ。
- ✓ たすきを掲げることにより、家に誰もいないことを知らせる**こと**になり、**空き巣**などの**心配**が生じると思ってしまうのですが。
- ✓ もう少し**大きく**してはどうでしょうか

アンケート回答(96件)結果集計(4/9)

【ご近所とのつながり・共助】

- ✓ 近所の交流が深まるしいざまた被害にあったときの訓練を1年
に一回はしてほうがいいと思う
- ✓ 実際に災害にあったときに、近隣の方が本当に避難出来ている
かどうか、また家によってタスキをつける位置が異なるため、
今回の訓練でここにつけてるんだな確認出来たことがとても大
切だと思ったから
- ✓ 「もう災害は来ない」と心理的には思いたくなる。しかし、災
害リスクは厳然としてあり、車の使えない高齢者や要配慮者の
一時避難について課題が多々残されている。住民同士がお互い
に支え合う共助で災害に強いまちづくりを進めることが必要だ
と考えている。災害起きうる、ということを忘れない為に、
継続的にタスキ訓練を行った方が良いと思う。
- ✓ 災害の時は地域全体で力を合わせなければ何もできないから。
- ✓ 防災意識の高まりと、何かあったときや普段も近所の方にも声
をかけやすくなる
- ✓ 地域での助け合い意識を持つとうと思えました
- ✓ 日頃から訓練する事で、実際災害が起きた時にタスキを掛ける
意識付けも出来、更にお互い気にし合う事で地域の人同士声を
掛け合うきっかけになればいいと思うから。
- ✓ 各家庭に連絡網がまわるという意味では必要と思う。
- ✓ 命の優先。もしものときの、迅速な対応で、タスキがかかって
いる家以外の確認作業に一目でわかる。
- ✓ いざという時役に立つ。
- ✓ この黄色いタスキは、防災に対する意識を確認するため、町内
会のコミュニケーションツールとしてわかりやすく、次の展開
につなげやすい。
- ✓ 地域一丸となつて防災に取り組み

【日頃の訓練・繰り返し大切】

- ✓ いざという時、慣れていないと実践できないので。
- ✓ 日頃からの訓練が大切
- ✓ 実際にまた起こるかもしれないので訓練は必要だと思います。
- ✓ タスキの取付場所の確認
- ✓ 訓練を重ねていくことで実際に災害が起こったときに役立つ。
- ✓ 災害時にこの行動が当たり前に出来るようになる為に、時々の
訓練は必要だと思います。
- ✓ 防災意識の低下を防ぐためにも、定期的な訓練は必要だと思ふ。
- ✓ 訓練をせずに、何年も経つとタスキの存在を忘れてしまふ
- ✓ 訓練することで、実際に避難する時に役立つ。改善するところ
も見つかる。
- ✓ いざという時に慌てないように、普段から意識して訓練は必要
だと思います。
- ✓ 訓練は必要だから
- ✓ 前もって、訓練する事で、落ち着いて避難する自覚を持つよう
になると思われるから
- ✓ 今後役立つと思う
- ✓ 本当に被災した時に冷静な行動が出来るようになるために必要
だと思います。
- ✓ 繰り返し事は必要
- ✓ いざという時にスムーズに行えると思うので。
- ✓ つけることに慣れている方がいい。いざというときにつけるこ
とに抵抗が出ては意味がないので。みんなが自然にできるよ
うになるといい。
- ✓ 何回も繰り返し返すことによって課題がでてくる。
- ✓ 定期的に訓練する事でもしもの時に忘れず実行できる
- ✓ 使い方を身につけるため。
- ✓ いざという時にタスキを掛けることを忘れない為。

アンケート回答(96件)結果集計(5/9)

【防災意識向上・意識付け】

- ✓ 防災意識を薄らさないため。／意識づけのためにも日頃からの意識付けは必要。／意識が高まるから。／周りも意識がつくから。
- ✓ 防災意識の定着化のため。定期的な防災意識を高める必要があるから。
- ✓ 時間が経つにつれ意識が低くなると思います。
- ✓ 家族を守る為でもあり、ご近所の方々の安否だとか一目で分かる仕組みは大切だと思うからです。
- ✓ 災害時の避難について考えることができたら。また、今私は1人暮らしなので地域の人と繋がっている感じがしてこれから雨の季節になるが、不安な気持ちしが軽減すると思う。
- ✓ 防災への意識が高まるから。／日頃から意識をしておくのは必要だと思う。／定期的な防災意識の向上が必要だと思うから。
- ✓ 定期的に行う事で、防災意識が保てそうだから。
- ✓ 異常気象が、当たり前となった近年、災害が他人事ではないので、命を救う訓練での意識改革が必要と思います。
- ✓ 地区一帯で訓練することで一人一人が防災意識を高めることができるので定期的に必要なだと思います。黄色いタスキはナイスアイデアだと思います。
- ✓ いざとなったら忘れてしまうので定期的にした方が意識が高まる。忘れてしまわないため。災害意識が高まる。
- ✓ 防災対策に意識をもつ。意識を保てる。
- ✓ 災害だけでなく、地震や自然災害は今後増えていくはずなので頭の中に関連している、という事を置いてあるだけでも有事の際には直ぐに旗を結んで逃げるといいう考えに直結して良いと思う。
- ✓ いつ災害にあうか分からないので。／災害時を思い出し、いざと言う時の話し合いができる。
- ✓ 子どもも興味を持って、取り組みでくれた。／皆さんが忘れていく。／どのような対策を講じても体験に勝るものはないと思う。
- ✓ 防災意識を高めるため。／常に防災を意識出来るから。／意識を高めるため。／一人一人が防災について意識を持つため。
- ✓ 毎年することで意識が高まるから。／意識も出てくる。／月日が経つと意識が薄れていくから

アンケート回答(96件)結果集計(6/9)

【問題提起】

- ✓ 今後、今日の訓練をどのように展開するのか
- ✓ 近所の方の安否が確認できるのは良いことだと思いますが、一年のような豪雨の中近所のタスキを確認しに行く自信はありません。タスキをつけることによって家に誰もいないという印になり防犯の面の不安があります。
- ✓ 今回、練習までしてする意味がよくわからない。
- ✓ 空き巣被害に合いそうです。少し不安な面があります
- ✓ 1回きりだと、タスキをなくしたり、いざの時に忘れる可能性あり。イベント的なのは、いらないと思う。
- ✓ 休日だったのでタスキを結ぶ時間を決められると負担になります
- ✓ 町内に住んでいないながら、はじき出された(仲間はずれ)気分だし、全世帯がしないのなら意味がないのかなと思った。したくなくしてしないのなら話は別だけど。
- ✓ 全員が必要だとは思っていないから
- ✓ 7.と同じ理由
- ✓ 不在だとわかると泥棒が入る可能性もあるのでは？

【タスキに対して】

- ✓ 簡単で外からでも確認しやすい
- ✓ 簡単に誰でも参加出来るから。
- ✓ 川辺全体で町内関係なく気軽に参加でき、可視化され分かりやすかったから。

【提案】

- ✓ 毎回役員をからめられないで例えば第三週(日)をその日にしましよ
うとかなら何度あってもよさそうです

【安否確認は必要】

- ✓ 町内のつながり、安否確認を実施できる。
- ✓ みんなでタスキをさげて安否確認する必要がある
- ✓ 確認が出来るから！
- ✓ 安否の有無が確認できるから 水害で避難する時に身内(一人暮らし)の女性はもう避難しているだろうと思いついて 声をかけませんでした。実際には避難しておらず亡くなりましたので・・・
- ✓ 近所の方が心配でも、災害時はみんな自分の事で頭がいっぱいで、なかなか電話まで出来ない。でも黄色タスキがあれば見ただけで確認が出来るから！
- ✓ 安否確認は、必要だと思います
- ✓ 安否確認がすぐ取れるから

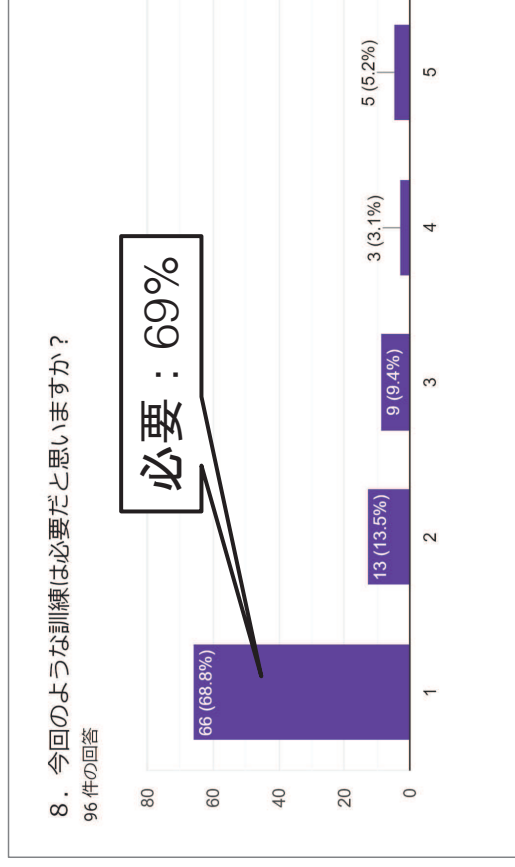
【不安の解消・逃げ遅れゼロ】

- ✓ 被災を経験し、毎年不安な時期を迎えるので、少しでもその不安を解消したいと思うからです。
- ✓ 一人でも逃げ遅れないようになってほしいから
- ✓ 亡くなる方をゼロにしたいから
- ✓ 経験値があるとなじりでは行動が違う。守れる命がある。

【その他】

- ✓ 川辺というより、あるくの活動
- ✓ どちらでもよい。
- ✓ 特になし

今後の活動に向けた現状理解 (案)



仮説としての現状認識

本来、関心も興味もあるがやり方はこれで良いのか？の強い思い。

今回の活動良かった。
必要なので続けてもらいたい。
改善点は、XX。(前向き意見)

あまり関心を寄せていない。すでに怖さをわすれている。情報を知らない。

約15%

約69%

約15%



厳しい意見住民

(やり方(方法)はこれで良いのか)

好意的な意見住民

(続けてもらいたいのが課題はあり)

関心が薄い？住民

(あまり関心がない？)

関係者による丁寧で継続的な説明(説明ツール必要?)

取り組み方について体制見直しを考える必要があるか?

改善点を明確にして継続活動(熱が冷めないタイミニング?)

粘り強く広報し住民自体のクチコミ(カフェ?メディア?)

今後、川辺防災を進めていく上で、どんなことが必要だと思いますか？または、何をしたいですか？その他、今回の訓練の感想などもお願いします。（例：研修・訓練・自主防災組織の推進など、内容も具体的に書いてくださるとありがたいです。）45件の回答（1/3）

アンケート回答(96件)結果集計(7/9)

【感想】

- ✓ 今回のような地区一斉訓練は一致団結に繋がると同時に助け合いも不可欠になってくると思います。車で道路を走った際に、車からでも見える位置に結んでこの家はどこにつけてるのかな？と分からない家もありました。が、個々が色々な工夫(見える位置に)をしている訓練にも思えました。今回のこの訓練の情報を無視をせざることを川辺はすごいなと感じました。
- ✓ 早い梅雨入りで豪雨で被災した皆さん不安が募ると思います。不安だからこそ、命を守る訓練を心がける必要性を感じます。コロナ禍ではあります。町内会でコミュニケーションを取りながら、いざという時も誰も犠牲にしないという意識を一人一人持ちたいですね。お世話になりました。どうもありがとうございました。
- ✓ 訓練の内容ややり方、タスキの準備までありがとうございました。タスキを結ぶ、など自宅で出来ることから参加できるものがあった良かったです。
- ✓ 自分の身の安全は自分で守る。
- ✓ 日頃から近所のコミュニケーションがやっぱり大切に実際の災害の時も躊躇なく声掛けができると思う
- ✓ 研修や訓練の内容(結果)を、参加しなかった(出来なかった)人にも、伝わる様にして下さっているのが、ありがたいです。
- ✓ 防災だけでなくも御近所付き合いが大切なので町内会の繋がりができてきてほしいです。その意味でも今回の訓練は、よかったです。
- ✓ 何事も、知っておくことは、必要。そうすれば、選択できる。
- ✓ 今は思いつきませんが、今回このように訓練を計画して下さってありがとうございました。

今後、川辺防災を進めていく上で、どんなことが必要だと思いますか？または、何をしたいですか？その他、今回の訓練の感想などもお願いします。（例：研修・訓練・自主防災組織の推進など、内容も具体的に書いてくださるとありがたいです。）45件の回答（2/3）

アンケート回答(96件)結果集計(8/9)

【課題・改善点】

- ✓ 町内会に入っていない世帯の巻き込み
- ✓ YouTube配信はネット環境が整っていない家庭では視聴するのが難しいです。避難の際、同じ地区内で避難が難しいおうちもあると思います。誰がどの家に声をかけに行か決めておくのもありなのかなと思います。
- ✓ 回覧板や、広報誌、小学校と連携してお便りなどで活動内容や、訓練予定等告知するともっと認知されたいと思います。
- ✓ 実際タスキをつけて避難するのは盗難とかのリスクもあるのではなかろうか？と思う。
- ✓ 結局は、老若男女どんな状況の方でも安心してここに逃げてくれればいいんですよ！ここからは移動も含めこちらに任せてください！って場所があればと思う。例えば川辺橋左手の高台。あそこに浅口市にあるようなドームの屋根を創る！いったんそこに逃げろ！今は最悪残念だけど、あの日を思い出すと高梁川沿いの土手にあがるしかない😓あとは、これがでたら絶対避難！ってメッセージをインプットさせる同じ用紙とか。絶対的な安心安全のインプットさえできれば研修も訓練もいらなと思う。要するに市・県・国の対応準備があるかどうか。地元民はただただ、いったんそこに逃げろ！！それだけ。あとは市・県・国に身を任せれるようにしていただければいいです。
- ✓ 今日の訓練ありがとうございました。YouTubeの音声聞き取りにくい所が有り残念でした
- ✓ 訓練に参加したことがなくてごめんなさい 避難先がわからない 避難先がわからない
- ✓ 豪雨災害の時を考えると、何日も家を空けた場合は、黄色タスキは疑問です
- ✓ 災害時タスキを確認すれば無事かどうか分かるのでとても良いと思うのですが、同時に家には誰もいないことを知らせているので盗難に合う可能性もあり心配です。
- ✓ チラシだけのお知らせだけでなく、放送でも知らせがあった方が分かりやすく、参加率も上がるのでは
- ✓ タスキ、いい考えですが、逆に防犯上人が居ないとわかると心配な部分がある

今後、川辺防災を進めていく上で、どんなことが必要だと思いますか？または、何をしたいですか？その他、今回の訓練の感想などもお願いします。（例：研修・訓練・自主防災組織の推進など、内容も具体的に書いてくださるとありがたいです。）45件の回答（3/3）

アンケート回答(96件)結果集計(9/9)

【必要なこと・やりたいこと】

- ✓ 地域で避難訓練リュックを背負って、避難場所まで歩いてどれくらいかかるのか、時間を計ってみたい。
- ✓ 各避難所や避難先の様子はどうだったのか、実態について整理された記録を住民が知る機会があれば、と思う。地震と洪水の複合災害の場合には？と考えると、研修や消火訓練なども有れば、と思う。コロナ禍でなかなか難しいので、オンラインセミナーも含めて。大変お疲れ様でした。ありがとうございます。
- ✓ 避難所となっている施設の見学(特に支援住宅は新設なので興味がある)→実際に避難した際に、どこにどんな設備があるのかなど知っておいた方が安心できる。
- ✓ 定期的な訓練をするのが良いと思います。黄色タスキは私の地区では7割ほど出来ていて防災意識が高いなあと思いました。良い事だと思えます。
- ✓ 介助の必要な方や、一人暮らしの、特にご老人と地域の連帯方法。訓練、自主防災組織の推進。
- ✓ 子供が以前、学校以外で避難訓練がないことを言っていました。確かに大人になり忙しさにかまけて、(避難訓練などあったのかもしれませんが)何十年も訓練をしていないなあ、、、と、ふと我に返り考えさせられました。地域の避難訓練があれば、次回は是非親子で参加したいと思えます。
- ✓ このような企画を提案して実行していただき、ありがとうございます。小学校や中学校へ通っているお子さんがいる家庭は地域とのコミュニケーションがある程度とれていると思いますが、その他の方(真備町以外の保育園へ通っている、高齢者)はなかなかコミュニケーションをとる機会がないので、コロナ感染対策をしながら研修などがあれば助かります。今日はお疲れ様でした。
- ✓ 可能かわかりませんが、色々な時間帯での避難訓練。こちらも、可能かわかりませんが、我が家の防災対策として、モデルケースを公開してくださる家からのYouTube配信。
- ✓ 町内会単位での集まりや、川辺内での繋がりを増やしたい。その中から自主防災組織を作ることを通じ、話し合いたい。
- ✓ 1人暮らし、高齢者のみで住まわれているお宅の把握(地区で)もしものときの避難の、連携。
- ✓ 町内会や隣近所のつながりの強化。町内会で今回の訓練は意識が高かったのも、またこう言う訓練めいたものがあると良い。
- ✓ 必要だったかどうかは災害時にしかわからないうけど、考えて何かをするのは必要だと思う。
- ✓ 避難はしないと考えている方達をどのように避難することを大事か伝えていかないとけないと思います。
- ✓ 地域のお年寄りや、体の不自由な方、一人家族の方、逃げる足の無い人を把握する
- ✓ 町内会を班分けにして数軒で確認し合う⇒それを町内会長に連絡する。掲げていない所に声掛けするなど、安否確認や声掛けの訓練につなげられるようにしてはどうかと思う。それが事実上自主防災組織の取り組みになると思う。
- ✓ 定期的な防災訓練が必要だと思います(黄色いタスキ等)。持って逃げる物や災害別の逃げ場の確認。YouTubeでの情報発信。1年に一回の訓練。訓練。町内会の自主防災組織。地区での災害訓練。研修 オンラインもあり。

2021年7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021年8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2021年9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2021年10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2021年11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

私たち住民の意識は、フェーズが移り変わっている？

もし意識の移り変わりがあるなら、
どのように理解して次の活動を考えるのが良い？

2021年6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

次回の実行委員会の活動予定は？

皆さん、次回までにそれぞれどんなことをどのように実施するのが良いか考えてきていただけますでしょうか？できれば事前にご意見を集めて活動計画にしていければと思います。

川辺みらいミーティング実行委員会

川辺地区まちづくり推進協議会

香川大学 防災・危機管理コース

倉敷市真備地区関係事業所等連絡会

国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

特定非営利活動法人ピースウインズ・ジャパン

特定非営利活動法人みんなの集落研究所

協力：倉敷市

第8回
川辺みらい
ミーティング

学ぼう！ 川辺の防災



参加無料

2021年

10月31日 日 13:30-15:30

真備公民館川辺分館・集会室 会場定員 30名

オンライン併用で開催します。

地区外の方もぜひオンラインでご参加ください。

※コロナ感染拡大によって川辺分館が使えない場合は、オンライン開催のみとします。

第1部 13:40～14:10

「川辺地区の河川工事の現状と
これから」

国交省/高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所



第2部 14:15～14:30

「西日本豪雨災害の体験を基に作成した
防災おやこ手帳について」

昨年10月に発行し、すでに配布部数は1万冊を超えました。手帳に記載されているポイントをご紹介します。



第3部 基調講演 14:40～15:20

「これから起きうる災害に備える
～川辺の特徴を踏まえた防災とは～」

講師：磯打千雅子氏(香川大学 准教授)



締め切り
10/29(金)

会場参加予約
お問い合わせ

事務局：川辺復興プロジェクトあるく
TEL: 080-5752-0111

黄色いタスキが
自宅にない方も
ご連絡ください。

オンライン視聴 右のQRコードから申し込みください。後日、メールアドレスに
申し込みフォーム URLをお送りします。 <https://forms.gle/RtAMu6Tz2gsu6rJ2A>



主催：川辺地区まちづくり推進協議会・川辺みらいミーティング実行委員会

協力：香川大学 防災・危機管理コース学生/倉敷市真備地区関係事業所等連絡会/真備高齢者支援センター
国土交通 省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所/特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

後援：倉敷市

動画(YouTube)で伝える 西日本豪雨災害(参考資料)

ご家族と一緒にぜひご視聴ください。地域での防災研修などでもご活用いただけると嬉しいです。

西日本豪雨から3年 ラジオドラマ

「届け！この思い～あかりのうた～」(43分程度)

真備を舞台としたオリジナルラジオドラマを制作し、放送しました。

2048年の真備が舞台です。小学6年生の沙羅は、おばあちゃんから30年前の西日本豪雨災害についての話、また、災害からの復興にあたって、地域の自営業者の力も大きかったという話を聞き、学校の研究発表のテーマに取り上げたいと提案します。児童たちは真備の自営業者のもとを訪れ、経営者などから当時の話を聞き、理解を深めます。豪雨から30年の七夕の日、小田川花火大会の会場で、沙羅はさらなる事実気づき、自分の将来を決意します。

出演者は、真備にお住まいの方。また、登場する自営業者は、実際に真備でお店や会社を経営する方々が出演します。ラジオドラマに欠かせない効果音についてもこだわり、現地でしか聞けない音は実際に真備で収録し使用しています。市民の声で作るラジオドラマです。

作成:FMくらしき 提供:国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

協力:真備船穂商工会

出演:沙羅 榎原鈴華 おばあちゃん 松田美津枝 他 真備町のみなさま

<https://www.youtube.com/watch?v=tJhhPwRny2w>



あるく防災動画『車中泊避難ってどう備えたらいい?』(18分程度)

西日本豪雨の際には、避難所がパンクし、多くの方が車中泊を余儀なくされました。

また、コロナ禍の中、プライベート空間を作れるとのことで、注目されている車中泊ですが、気軽にできる反面、気を付けるべき大切なことがあります。香川大学の磯打先生がわかりやすく車中泊のポイントを教えてくださいました。ぜひ、ご覧ください。

作成:川辺復興プロジェクトあるく (令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業)

<https://youtu.be/ekg40yQBZDk>



平成30年7月豪雨被災体験に学ぶ～後世へのメッセージ～(各10分程度)

平成30年7月豪雨災害からまもなく3年。

真備町での被災体験と地域の方々による防災・復興活動について、6人の方のインタビュー動画です。

同じ後悔や思いをしてほしくない！との思いで語っています。

災害から得られる教訓の伝承は、昨今の重要なテーマです。

高梁川小田川緊急治水対策河川事務所のホームページ URL よりご覧ください。

<https://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda/densho/densho.html>

